

科目名 生物学		科目時間総数 30 時間	教員名 伊藤康夫
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	生物学概論①	生命がもつ特徴について説明する。生命体をつくる物質の起源について説明する。 (到達目標は学習内容を自分なりに説明できること。以下15コマ共通)	
2 限	生物学概論② 細胞と組織①	細胞がしだいに複雑になる過程および生物進化について説明する。細胞をつくる物質を説明する。	
3 限	細胞と組織②	細胞膜・細胞小器官の構造と役割を説明する。	
4 限	細胞と組織③	細胞のさまざまな活動について説明する。体細胞分裂の仕組みを説明する。	
5 限	生命の連続①	ヒトの組織と器官について説明する。生殖の方法について説明する。	
6 限	生命の連続②	減数分裂の特徴について説明する。遺伝の法則について説明する。	
7 限	生命の連続③	遺伝子と染色体の関係について説明する。DNAの構造について説明する。	
8 限	生命の連続④ 発生の仕組み①	遺伝子発現における転写と翻訳について説明する。受精と受精卵の特徴を説明する。	
9 限	発生の仕組み② 環境と動物の反応①	発生の仕組みを説明する。外部刺激の受容と仕組みを説明する。	
10 限	環境と動物の反応②	ヒトの感覚器の種類と働きを説明する。興奮の起きる仕組みについて説明する。	
11 限	環境と動物の反応③	興奮の伝導・伝達について説明する。ヒトの中樞神経系について説明する。	
12 限	環境と動物の反応④	ヒトの末梢神経系について効果器にも触れながら説明する。体液と浸透圧について説明する。	
13 限	環境と動物の反応⑤	血液の働きを説明する。ホルモンの種類と働きを説明する。	
14 限	環境と動物の反応⑥	自律神経とホルモンの協調作用について説明する。生体防御の仕組みについて説明する。	
15 限	動物の行動と進化	生得的行動、習得的行動について説明する。人類の誕生と進化ならびに生物と環境の関わりについて説明する。	
	試験		

科目名		科目時間総数	教員名
化学		30 時間	菅原教紀
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	物質の分類	混合物と純物質を区別する。化合物と単体の定義を説明し、具体例をあげる。	
2 限	物質の構造①	原子を構成している基本粒子、原子番号、質量数を説明する。電子殻とエネルギーについて説明する。	
3 限	物質の構造②	周期表で典型元素、金属元素などの配置を説明する。化学で用いる相対質量概念を理解し説明する。	
4 限	物質の構造③	原子の結合について説明する。イオン結合、金属結合、配位結合、分子間結合(水素結合・ファンデルワールス力)の特徴を説明する。	
5 限	気体	気体の法則をあげ、大気中の気体と性質を説明する。	
6 限	溶液①	質量パーセント濃度、モル濃度 (mol/L) を計算する。	
7 限	溶液②	蒸気圧と沸騰の関係を説明する。凝固点、浸透圧について説明する。	
8 限	化学反応式	化学反応、化学平衡について説明できる。	
9 限	酸とアルカリ	酸とアルカリの性質を比較し、説明する。	
10 限	酸化と還元	酸化と還元、酸化剤・還元剤の定義を説明する。	
11 限	有機化合物①	有機化合物の特徴を説明する。炭化水素や置換基の名称を説明する。	
12 限	有機化合物②	異性体の違いを説明する。代表的な有機化合物の性質を説明する。	
13 限	生態関連物質の化学①	水の特異性について構造をもとに説明する。	
14 限	生態関連物質の化学②	糖類やアミノ酸の名称と構造、性質を説明する。	
15 限	生態関連物質の化学③	脂肪酸と核酸の名称や性質を説明する。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 心理学	教員名 松岡 和生	
科目時間数 : 30 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1 年次	開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 心理学の基礎的知識を修得し、実際の歯科医療現場や実生活で心理学の知識を役立てることができるよう、基礎的な事項を学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 人間理解の基礎となる心理学的な見方について講義する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 知覚にはどんな特徴があるのかを理解する。 ② 記憶の構造や過程は、どのようになっているかを理解する。 ③ 動機づけのメカニズムとはどのようなものかを知る。 ④ 感情の種類を理解する。 ⑥ 知能とは何か、その構造はどのようになっているか知る。 ⑦ 考えるということはどういうことなのかを理解する。 ⑧ こころの発達過程について理解する。 ⑨ 集団の特徴にはどのようなものがあるかを知る。 ⑩ 心理的問題に対する専門的援助の方法とはどのようなものかを理解する。 ⑪ 歯科医療におけるコミュニケーションの意義を理解する。 		
	使用教材	出版社
学生・教員	最新歯科衛生士教本「心理学」	医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 大学・歯科衛生士養成機関等で講義の実務経験有</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
心理学		30 時間	松岡 和生
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	見る・聞く・感じるころ	知覚の成立、特徴について説明する。知覚に影響を与えている要因を述べる。	
2 限	学ぶ・覚えるころ	学習の成立、記憶の構造や過程について説明する。記憶の病理とゆがみはどのようなものか述べる。	
3 限	やる気の心理	動機づけの種類を列挙する。欲求の種類と特徴を説明する。	
4 限	喜怒哀楽のころ	感情の種類とそのメカニズムについて説明する。ストレスの対処方法について述べる。	
5 限	その人らしさの心理	パーソナリティの調べる方法を列挙し、説明する。パーソナリティの障害について説明する。	
6 限	かしこさの心理	知能とは何か、その構造はどのようになっているか説明する。知能障害の仕組みはどうなっているか述べる。	
7 限	考えるころ	考えるとはどういうことか述べる。問題解決方法を説明する。新しいものを創り出す過程と方法について説明する。	
8 限	発達するころ①	発達に影響をおよぼす要因は何か説明する。乳幼児から児童期のころの発達について説明する。	
9 限	発達するころ②	青年期、成人期・中年期の心身の変化について説明する。高齢期の心身の変化について説明する。	
10 限	人と関わる心理	人は他社の特徴をどのようにとらえ、印象を形成するか説明する。人を好きになる要因は何か説明する。	
11 限	人と集うころ	集団の心理、リーダーシップについて説明する。集団が人の行動に及ぼす影響について説明する。	
12 限	健康なころ	健康なころの状態と心の健康状態の測定について説明する。心理的問題に対する専門的援助の方法について説明する。	
13 限	カウンセリングのころ	歯科医療におけるコミュニケーションの意義を述べる。ロジャーズの基本姿勢を説明する。	
14 限	思いを伝え合うころ	信頼関係の構築を身につける。傾聴姿勢を身につける。	
15 限	心理学の歩みと研究法	心理学の研究法を述べる。心理学で用いる統計について説明する。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 英語	教員名 川村 繭子	
科目時間数: 15 時間	授業の種類: 講義 ・演習・実習	
必修・選択の別: 必修 ・選択	配当学年: 1 年次	
開講時期: 前期・ 後期 ・集中		
<p>【授業の目的・ねらい】 英語を主体とするコミュニケーション能力を身につける 歯科に必要な英語を身につける</p> <p>【授業全体の内容の概要】 自分の事を英語で表現できるようになる。 英語でコミュニケーションをとりながら、クラスメートを知り、より発話しやすい環境をつくる。 主に歯科医院で必要な簡単な英単語・英語表現を知る。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に英語でコミュニケーションをとる意欲を育て、わからないことを抵抗なく質問したり、考えたり、答えたり、反応したりする事ができるようになる。 ・主に歯科医院で必要な英会話表現をとっさに発話できるようになる。 		
	使用教材	出版社
学生・教員	歯科英語	医歯薬出版株式会社
教師参考用	クイズチャンツ	mpi 松香フォニックス出版
4. その他()		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験(プレゼンテーション) 6. その他()</p>		
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について: 筆記試験(50%)出席、授業態度、プレゼンテーション(50%)として勘案し、A(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内容】同専門学校他学科での英語指導経験・他大学校での英語指導経験 等</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
英語		15 時間	川村繭子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション 英語で自己紹介する 簡単な英会話表現	英語で自己紹介する How do you say _____ in English? の表現 にとっさに答える	
2 限	電話での予約対応	Part1-1: Making an Appointment by Telephone	
3 限	簡単な英会話表現 薬だけほしいと要求 された時の対応	What's color is _____? の表現 にとっさに答える Part1-2: Requests for Medicine	
4 限	薬だけほしいと要求 された時の対応 簡単な英会話表現	Part1-2: Requests for Medicine What's _____? の表現 にとっさに答える	
5 限	緊急の患者への対応	Part1-3: Emergency Appointments	
6 限	簡単な英会話表現 患者に症状を聞く対 応	In which month is _____? の表現 にとっさに答える Part1-5:Asking the Patient to Describe Symptoms	
7 限	患者に症状を聞く対 応 まとめ	Part1-5:Asking the Patient to Describe Symptoms 確認テスト	
8 限	まとめ	ふりかえり (講義時間：1時間)	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	情報処理	教員名	三田地さおり
科目時間数 :	15 時間	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修 ・ 選択	担当学年 :	1 年次
		開講時期 :	前期 (後期) ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 パーソナル・コンピューターの基本的操作を習得し、Word・Excel・PowerPointの一般的な操作ができる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 パソコンを使用し、文書作成やデータ処理、プレゼンテーション作成の基礎を学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>①パソコンの基本操作ができる。 ②Wordソフトを用いて、文書の作成ができる。 ③関数を使用し表計算ができる。 ④グラフを作成できる。 ⑤PowerPointソフトを用いて、スライドの作成ができる。 ⑥スライドショーを実行できる。</p>			
	使用教材	出版社	
学生・教員	よくわかるWord2019&Excel2019&PowerPoint2019	FOM出版	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：実技試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無</p>			
<p>【内容】 同専門学校他学科での指導経験等実務経験有</p>			

科目名 情報処理		科目時間総数 15 時間	教員名 三田地さおり
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	パソコンの基本知識 Word①	演習：パソコンの基本操作を行う。 演習：Wordの起動、画面構成が実践できる。	
2 限	Word②	演習：文章の作成、編集を行う。ワードアート、画像挿入ができる。	
3 限	Word③ Excel①	演習：表の作成を行う。 演習：Excelの起動、画面構成が実践できる。	
4 限	Excel②	演習：データ入力、表作成、グラフ作成を行う。	
5 限	Excel③ PowerPoint①	演習：データ分析を行う。 演習：PowerPointの起動、画面構成が実践できる。	
6 限	PowerPoint②	演習：プレゼンテーションを作成する。	
7 限	PowerPoint③	演習：スライドショーを実行する。アニメーションを設定する。	
8 限	データ共有	演習：アプリ間のデータ共有を行う。（授業時間：1時間）	
	試験		

科目名		科目時間総数	時間	教員名
解剖学・組織発生学		30		野坂 洋一郎
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 限	解剖学・組織発生学概論 細胞と組織①	人類の組織の種類、各部位を説明する。 細胞の基本構造を説明する。		
2 限	細胞と組織②	組織を分類し特徴を説明する。(上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織)		
3 限	発生	染色体、減数分裂について説明する。卵子発生、精子発生の仕組みを述べる。三胚葉から発生する組織を列挙する。胎児の成長と発育について説明する。		
4 限	骨格系①	骨の構造について説明できる。体幹骨の形態について説明できる。		
5 限	骨格系②	上肢骨・下肢骨の種類と形態について説明できる。		
6 限	筋系①	筋の形による分類ができる。筋の起始・停止について説明できる。体の各部位の筋について説明できる。		
7 限	筋系② 消化器①	四肢の筋肉について説明できる。 消化管の基本構造を説明できる。		
8 限	消化器②	各消化器の特徴を説明できる。		
9 限	循環①	血管の構造について説明できる。体循環と肺循環について説明できる。		
10 限	循環②	心臓の基本的構造と収縮の仕組みを説明できる。リンパ系の構造を説明できる。血液について説明できる。		
11 限	神経系①	神経系を分類し、解剖学的特徴を説明できる。中枢神経の構造について説明できる。		
12 限	神経系② 呼吸器①	脳の血管について説明できる。 呼吸器の構造について説明できる。		
13 限	呼吸器② 感覚器①	胸郭の構造について説明できる。 感覚受容器の構造について理解できる。		
14 限	内分泌器① 感覚器②	内分泌器官について説明できる。 外皮の層構築と付属期の構造を説明できる。特殊感覚器の構造について説明できる。		
15 限	泌尿器 生殖	泌尿器の構造について説明できる。 生殖器の構造と機能について説明できる。		
	試験			

科目名 生理学		科目時間総数 15 時間	教員名 赤羽 和久
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	生理学概要 筋と運動	機能の意義について説明する。 主な筋による運動について説明できる。	
2 限	消化・吸収 循環①	食物が消化・吸収される経路を説明できる。 血管、血液の機能について説明できる。	
3 限	循環② 神経①	リンパ系の機能について説明できる。 神経系の基本的機能について説明できる。	
4 限	神経② 呼吸①	主な伝導路を列挙し、説明できる。 呼吸器の機能を説明できる。	
5 限	呼吸② 感覚	呼吸運動の仕組みを説明できる。 感覚のメカニズムについて説明できる。	
6 限	排泄 体温	排泄の意義を説明できる。 体温調節中枢を説明できる。	
7 限	内分泌	内分泌器官とホルモンについて説明できる。内分泌器官の機能について説明できる。	
8 限	生殖	性周期と体温変化について説明できる。（講義時間：1時間）	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 栄養学	教員名 小番由紀子
科目時間数 : 20 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1 年次 開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 栄養素の消化・吸収、食事摂取基準、各種栄養素の栄養的働きの基礎知識及び国民の健康と栄養状態、ライフスタイル別の栄養と調理、各種食品の成分と分類・物性などを学び、食品と歯科疾患との関連性や栄養指導を通じての歯科衛生士の役割を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 栄養の基礎知識及び食生活と食品について理解し、健康の維持・増進を進めるための口腔と栄養の関連性を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養素の消化、吸収の基本を知る。 ・ 栄養素の相互作用、相互の影響について健康維持との関係を知る。 ・ 食事摂取基準及び栄養素の働きを知る。 ・ 健康づくりにおける食生活改善の取り組みについて、歯科衛生士の役割を知る。 	
	使用教材
学生・教員	人体の構造と機能2「栄養と代謝」
	出版社
	医歯薬出版社
<p>【使用教室】</p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 同専門学校他学科での指導経験等実務経験有</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
栄養学		20	小番由紀子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	栄養の基礎知識	健康の維持のために、栄養の知識を学ぶ意義を知る。栄養素の消化・吸収の基本を説明する。	
2 限	食事摂取基準①	個人のエネルギー必要量の求め方、摂取量の評価方法を知る。基礎代謝量に影響する因子を列挙できる。	
3 限	食事摂取基準② 栄養素の働き①	日本人の食事摂取基準の意義について説明できる。 食品から摂取している糖質について、生体での役割を述べる。	
4 限	栄養素の働き②	食品から摂取しているタンパク質について、生体での役割を述べる。 食品から摂取している脂質について、生体での役割を述べる。	
5 限	栄養素の働き③	ビタミンの種類を列挙し、個々の働きを述べる。ミネラルの種類を列挙し、個々の働きを述べる。	
6 限	栄養素の働き④	水の働きと代謝について説明できる。食物繊維の働きについて説明できる。	
7 限	食生活と健康①	食生活と健康の関連について把握し、健康の維持・増進を進めるための栄養指導の必要性について述べる。健康づくりにおける食生活改善の取り組みについて、歯科衛生士として果たすべき役割を述べる。	
8 限	食生活と健康②	成長期の食生活の特徴を説明する。	
9 限	食生活と健康③ 食べ物と健康①	高齢期の食生活の特徴を説明する。 食品の成分と分類について説明する。	
10 限	食べ物と健康②	健康づくりのための食事計画の進め方について学習する。食品の特性をおいしさ要因、特性・テクスチャーなどから理解する。	
11 コマ		試験	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 口腔解剖学・口腔組織発生学	教員名 野坂 洋一郎								
科目時間数 : 30 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習								
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 1 年次 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中								
<p>【授業の目的・ねらい】 口腔及び口腔付近の表面構造、骨、頭蓋、顎関節、筋肉、動脈、静脈、リンパ系、神経を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 口腔解剖学・口腔組織発生学の概要を学び、歯・口腔およびその周囲組織の構造・機能に関する理解を深める。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①顔面ならびに口腔の各部位の名称を列挙できる。 ②顔面ならびに口腔の発生を概説できる。 ③顔面ならびに口腔を構成する骨と筋を説明できる。 ④頭頸部の脈管と神経を説明できる。 ⑤三叉神経と顔面神経の走行と線維構成を説明できる。 ⑥歯と歯周組織の発生を理解できる。 ⑦歯の硬組織・歯髄・歯周組織の組織学的構造と機能を説明できる。 									
	使用教材								
学生・教員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; border: none;">最新歯科衛生士教本「人体の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」</td> <td style="width: 33%; border: none;">医歯薬出版社</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">「口腔顎顔面解剖ノート」</td> <td style="border: none;">学建書院</td> </tr> </table>	最新歯科衛生士教本「人体の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」	医歯薬出版社	「口腔顎顔面解剖ノート」	学建書院				
最新歯科衛生士教本「人体の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」	医歯薬出版社								
「口腔顎顔面解剖ノート」	学建書院								
【使用教室】									
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; border: none;"><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR</td> <td style="width: 33%; border: none;">2. 基礎実習室</td> <td style="width: 33%; border: none;">3. 歯科臨床実習室</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: none;">4. その他 ()</td> </tr> </table>		<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 基礎実習室	3. 歯科臨床実習室	4. その他 ()				
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 基礎実習室	3. 歯科臨床実習室							
4. その他 ()									
【評価方法】									
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%; border: none;">2. レポート</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席</td> <td style="width: 25%; border: none;">4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="border: none;">5. 実技試験 6. その他 ()</td> </tr> </table>		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	4. 授業態度	5. 実技試験 6. その他 ()			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	4. 授業態度						
5. 実技試験 6. その他 ()									
【備考】									
<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>									
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無									
【内容】 他専門学校での指導経験等実務経験有									

科目名 口腔解剖学・口腔組織発生学		科目時間総数 30	時間	教員名 野坂 洋一郎
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 限	顔面と口腔の発生	顔面の発生について、前頭隆起と鰓弓について説明できる。顔面、鼻腔、口腔および頸部の形成について説明する。		
2 限	口腔の構造	口腔を区分し、口腔前庭を説明し、構造物の名称をあげる。固有口腔を説明し、構造物の名称をあげる。		
3 限	口腔を構成する骨①	頭蓋を構成する骨の名称を説明できる。鼻腔、副鼻腔、大泉門、小泉門、翼口蓋窩について説明する。		
4 限	口腔を構成する骨②	上顎骨の構造を説明できる。下顎骨の構造を説明できる。		
5 限	頭頸部の筋	表情筋、咀嚼筋、舌骨筋、舌筋の名称をあげ、起始、停止、作用、支配神経を説明できる。頸部の筋の名称をあげる。顎下三角とオトガイ下三角、翼突下顎隙と翼突下顎縫線について説明できる。		
6 限	顎関節	顎関節の構造について説明できる。靭帯について説明できる。		
7 限	脈管系①	頭頸部に分布する動脈・静脈の特徴について説明できる。		
8 限	脈管系②	顎動脈について概説できる。口腔付近にあるリンパ節を説明できる。		
9 限	神経①	三叉神経を説明できる。顔面神経を概説できる。		
10 限	神経②	嚥下に関与する脳神経を概説できる。頭部に分布する自律神経を概説できる。		
11 限	咽頭、喉頭の構造	咽頭、喉頭、食道の構造を説明できる。嚥下に関与する筋群を説明できる。		
12 限	歯と歯周組織の発生	歯の発生の概要を説明できる。歯の交換を説明できる。		
13 限	歯・歯周組織の構造と機能①	歯を構成する硬組織（エナメル質、象牙質、セメント質）の物理化学的性状、構造物について説明できる。象牙質・歯髓複合体の構成要素について説明できる。		
14 限	歯・歯周組織の構造と機能②	セメント質について説明できる。歯根膜について説明できる。		
15 限	歯・歯周組織の構造と機能③	歯槽骨について説明できる。歯肉について説明できる。		
		試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	歯牙解剖学	教員名	伊藤 一三
科目時間数 :	15 時間	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	1 年次
		開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的】 歯の形態、構造、機能、異常について理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 歯の特徴や機能、歯列、咬合の知識を歯科衛生業務にいかせるようにする。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>①歯の表示法や記号について説明できる。 ②歯種を鑑別できる。 ③歯の萌出順について説明できる。 ④歯列と咬合について説明できる。 ⑤歯の形態を歯種別に説明できる。 ⑥歯の形態異常について説明できる。</p>			
	使用教材	出版社	
学生・教員	「基礎から学ぶ歯の解剖」 「口腔顎顔面解剖ノート」	医歯薬出版 学建書院	
【使用教室】			
①. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()			
【評価方法】			
①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する。全出席は10～15点、欠席1回は5～10点を加算する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 大学での講義、臨床経験等、実務経験有			

科目名 歯牙解剖学		科目時間総数 15 時間	教員名 伊藤 一三
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	歯牙解剖学の総論①	歯の定義、歯の種類と記号、歯の数と歯式、方向用語、歯の形態について説明できる。	
2 限	歯牙解剖学の総論②	歯の鑑別、歯と歯周組織の組織構造、歯の機能について説明できる。	
3 限	永久歯の特徴①	永久歯の形成時期と萌出時期を説明できる。上顎中切歯、上顎側切歯、下顎中切歯、下顎側切歯の特徴を述べる。	
4 限	永久歯の特徴②	上顎犬歯、下顎犬歯、上顎第一小臼歯、上顎第二小臼歯、下顎第一小臼歯、下顎第二小臼歯の特徴を述べる。	
5 限	永久歯の特徴③	上顎第一大臼歯、上顎第二大臼歯、下顎第一大臼歯、下顎第二大臼歯の特徴を述べる。	
6 限	乳歯の特徴①	乳歯の特徴を説明できる。上顎乳中切歯、上顎乳側切歯、下顎乳中切歯、下顎乳側切歯、上顎乳犬歯、下顎乳犬歯の特徴を述べる。	
7 限	乳歯の特徴②	上顎第一乳臼歯、上顎第二乳臼歯、下顎第一乳臼歯、下顎第二乳臼歯の特徴を述べる。	
8 限	歯列と咬合 歯の異常	歯列と咬合について説明できる。 歯の形態異常について説明できる。(授業時間：1時間)	
		試験	

科目名		科目時間総数	教員名
口腔生理学		30 時間	赤羽 和久
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	歯と口腔の感覚	歯の感覚について説明できる。口腔粘膜の感覚について説明できる。	
2 限	味覚と嗅覚①	味覚の役割について説明できる。味覚検査法と味覚障害について説明できる。	
3 限	味覚と嗅覚②	嗅覚の特性と役割について説明できる。においが受容される仕組みについて説明できる。	
4 限	咬合と咀嚼・吸啜①	下顎安静位、咬頭嵌合位、中心位を説明する。下顎の運動について説明できる。	
5 限	咬合と咀嚼・吸啜②	顎反射を列挙し、説明する。咀嚼運動を制御する神経機構について説明できる。	
6 限	咬合と咀嚼・吸啜③	咀嚼能力を評価する方法を説明できる。乳児の探索反射、吸啜反射、嚥下反射を説明する。	
7 限	嚥下と嘔吐①	嚥下に関与する筋群を説明する。摂食・嚥下の流れを説明できる。	
8 限	嚥下と嘔吐②	嚥下の概要を説明できる。食塊の動きを説明できる。	
9 限	嚥下と嘔吐③	嚥下の意義と神経機構を説明できる。嚥下の病態を説明できる。	
10 限	嚥下と嘔吐④	嘔吐の誘発とその機序を説明できる。嘔吐の意義と神経機構を説明できる。	
11 限	発声①	発声にかかわる脳と音声器官の働きを説明できる。声が生成される仕組みを説明できる。	
12 限	発声②	言語音が形成される仕組みを説明できる。構音障害の種類を説明できる。	
13 限	発声③	歯・口腔の病態が発音に及ぼす影響について説明できる。義歯が発音に及ぼす影響について説明できる。	
14 限	唾液①	唾液腺の種類を説明できる。唾液が分泌される仕組みを説明できる。	
15 限	唾液②	唾液の性状と成分、生理的作用を説明できる。唾液と疾患との関連を説明できる。	
	試験		

科目名		科目時間総数	教員名
病理学		30 時間	畠山 節子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	病因論 遺伝性疾患と奇形	疾患の原因である病因と疾病の成り立ちについて説明できる。遺伝性疾患や奇形の成因について説明できる。	
2 限	循環障害	体液の循環について説明できる。閉塞性循環障害について説明できる。	
3 限	代謝障害と退行性病変	細胞障害による変化や変性の種類を列挙できる。代謝障害の種類を列挙できる。壊死、壊疽、アポトーシスについて説明できる。	
4 限	増殖と修復	進行性病変の種類と意義、創傷治癒や再生の基本的な考え方を説明できる。	
5 限	炎症と免疫	炎症とは何かを、アレルギー・自己免疫疾患・免疫不全症・移植免疫を説明できる。	
6 限	腫瘍	腫瘍の定義について説明できる。腫瘍の組織学的特徴を説明できる。	
7 限	歯の発育異常 歯の損傷	歯の発育異常の種類や歯の萌出時期の異常を列挙できる。歯の損傷の種類、歯の着色や変色の原因を列挙できる。	
8 限	う蝕 象牙質・歯髄複合体の病態	う蝕発生の要因、分類について説明できる。 歯髄炎の原因、分類について説明できる。	
9 限	歯周組織の病態	根尖性歯周炎の病因と分類について説明できる。歯周疾患の病因と分類を説明できる。	
10 限	口腔粘膜の病変	口腔粘膜に生じる病変の種類とその特徴を説明できる。全身疾患の一徴候としてみられる口腔粘膜病変について説明できる。	
11 限	口腔領域の嚢胞①	嚢胞の定義・基本的な構造を説明できる。歯源性嚢胞と非歯源性嚢胞の代表的な疾患を列挙できる。	
12 限	口腔領域の嚢胞② 口腔癌	口腔領域の悪性腫瘍を列挙できる。 口腔粘膜の潜在的悪性疾患を列挙できる。	
13 限	顎骨の病変	顎骨骨髄炎について説明できる。顎関節の病変について説明できる。	
14 限	唾液腺の病変 口腔領域の奇形	唾液腺に発生する病変を列挙できる。 口唇口蓋裂、顔面披裂の種類を列挙できる。	
15 限	口腔組織の加齢変化	口腔組織の加齢変化を列挙できる。加齢変化と高齢者の口腔内にみられる所見の関連性を説明できる。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	微生物学	教員名	田近 志保子
科目時間数 :	30 時間	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	1 年次
		開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 微生物の生態や微生物が原因でおこる疾病、その対応について理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 微生物と感染症についての概要と感染症の成り立ちを学ぶ。また、口腔に常在する微生物と口腔疾患について学ぶとともに、感染予防についての基礎的な知識を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 疾病の原因としての病原性細菌、ウイルスについて説明できる。 ② 感染・感染症の種類について説明できる。 ③ 微生物の分類と性状の違いについて説明できる。 ④ 主な病原性細菌の性状とその病原性について説明できる。 ⑤ 非特異的防御機構と特異的防御機構について説明できる。 ⑥ 口腔内微生物叢の成り立ちについて説明できる。 ⑦ う蝕の病像とミュータンスレンサ球菌のう蝕病原性について説明できる。 ⑧ 歯内感染症の成立機序と根管細菌について説明できる。 ⑨ 歯周病の病像、成立機序と病原微生物について説明できる。 ⑩ 歯科診療上留意すべき口腔外感染症について説明できる。 ⑪ 滅菌と消毒の定義について説明できる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員	最新歯科衛生士教本「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」	医歯薬出版	
【使用教室】			
1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室			
4. その他 ()			
【評価方法】			
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度			
5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。			
評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 大学歯学部での指導経験等実務経験有			

科目名		科目時間総数	教員名
微生物学		30 時間	田近 志保子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	疾病と微生物	病原性細菌、ウイルスについて説明できる。感染と感染症について説明できる。	
2 限	微生物の病原性①	微生物の分類と性状の違いについて説明できる。細菌の分類、形態・構造、代謝・増殖、病原因子について説明できる。	
3 限	微生物の病原性②	グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陽性桿菌、グラム陰性桿菌の性状と病原性について説明できる。	
4 限	微生物の病原性③	マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチア、クラミジアの性状と病原性について説明できる。	
5 限	微生物の病原性④	ウイルスの構造、増殖、歯科に関連するウイルス感染症について説明できる。	
6 限	微生物の病原性⑤ 宿主防御機構と免疫①	その他の微生物（真菌・原虫）の性状と病原性について説明できる。非特異的防御機構と特異的防御機構について説明できる。	
7 限	宿主防御機構と免疫②	粘膜免疫の特徴や液性免疫について説明できる。	
8 限	宿主防御機構と免疫③	細胞性免疫、アレルギー反応について説明できる。	
9 限	口腔微生物学	口腔微生物叢の成り立ちや変化する要因、プラークの定義や成り立ちについて説明できる。	
10 限	口腔感染症①	う蝕の病像とミュータンスレンサ球菌のう蝕病原性について説明できる。歯内感染症の成立機序と根管内細菌について説明できる。	
11 限	口腔感染症②	歯周病の病像、成立機序について説明できる。歯周病原細菌について説明できる。	
12 限	口腔感染症③	その他の口腔感染症について説明できる。病原微生物について説明できる。	
13 限	化学療法	化学療法の定義、化学療法薬の種類と特徴について説明できる。薬剤耐性について説明できる。	
14 限	院内感染対策と滅菌・消毒	口腔外感染症、院内感染対策、標準予防策について説明できる。滅菌と消毒の定義、滅菌法・消毒法について説明できる。	
15 限	細菌培養・顕微鏡観察	細菌の培養法について説明できる。微生物を観察するための方法を説明できる。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 薬理学	教員名 高田 智美		
科目時間数 : 15 時間	授業の種類 : <input checked="" type="radio"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1 年次	開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="radio"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 薬物の性質、薬理作用、作用機序および副作用を理解するために、疾病の回復を促進する薬に関する基本的知識を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 薬物の性質、作用、作用機序、副作用等、薬理学の基礎的知識を習得し、生体と薬物との関わりを理解する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①薬物作用の基本形式と分類を説明できる。 ②薬物動態を概説できる。 ③薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 ④薬物の連用の影響について理解できる。 ⑤薬物の一般的副作用、有害作用を説明できる。 ⑥薬物の剤形を説明できる。 ⑦医薬品の分類を説明できる。 ⑧毒薬、劇薬および麻薬などの表示と保管を説明できる。 ⑨止血機構について説明できる。 ⑩骨粗鬆症治療薬の働きを説明できる。 ⑪炎症の五大徴候を説明できる。 ⑫消毒薬の作用機序を説明できる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員	最新歯科衛生士教本「疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学 第2版」	医歯薬出版	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="radio"/> 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 同専門学校他学科での指導経験等実務経験有</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
薬理学		15 時間	高田 智美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	薬物の作用 薬物動態 薬物の適用方法の特徴、 作用に影響を与える要因	薬物療法を説明できる。 薬物の生体膜通過様式を説明できる。 薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 薬効に影響する因子と生体の感受性について説明できる。	
2 限	薬物の副作用、有害作用 医薬品を適用する際の注意 薬物の取り扱い	薬物による有害作用の原因を説明できる。 薬剤の剤形を説明できる。薬物の保存方法を説明できる。 服薬に関する一般的事項を説明できる。	
3 限	薬物と法律・薬物と医薬品 ビタミンとホルモン 末梢神経系に作用する薬物	医薬品医療機器法について説明できる。医薬品の分類、毒薬、劇薬および麻薬などの表示と保管を説明できる。 主なビタミン、ホルモンの薬理作用を説明できる。 末梢神経の構造と機能を説明できる。	
4 限	中枢神経系に作用する薬物 循環器系に作用する薬物	全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬、抗痙攣薬の働きを説明できる。 高血圧治療薬、不整脈治療薬、狭心症治療薬、脂質異常症治療薬の働きを説明できる。	
5 限	腎臓に作用する薬物 呼吸器系に作用する薬物 消化器系に作用する薬物 血液に作用する薬物	利尿薬の適応症を説明できる。 主な気管支喘息治療薬をあげ、その作用機序を説明できる。 消化性潰瘍治療薬をあげ、作用機序を説明できる。 止血機構について説明できる。	
6 限	免疫と薬 悪性腫瘍と薬 代謝性疾患治療薬	免疫増強薬・免疫抑制薬の適応症と、主な薬物について説明できる。 主な抗悪性腫瘍薬をあげ、作用機序を説明できる。 糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬の働きを説明できる。	
7 限	炎症と薬 痛みと薬 抗感染症薬	抗炎症薬の代表的な薬物、薬理作用と副作用を説明できる。 麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬の働きを説明できる。 抗感染症薬の作用機序と副作用を説明できる。	
8 限	消毒に使用する薬	消毒薬の作用機序、分類、代表薬について述べる。 (講義時間：1時間)	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 口腔衛生学 I		教員名 村井雄司 吉田有里 大友さつき 浪岡多津子	
科目時間数 : 30 時間		授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修	配当学年 : 1年次	開講時期 : 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 歯・口腔の歯科疾患の予防を学び、歯・口腔の健康を保持増進について理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 歯と口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み、疾病異常の原因、予防に関する科学的事実と基礎を正しく理解し、必要な知識を身につけ、患者への指導に対する実践能力を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①口腔の健康の定義を説明できる。 ②口腔と全身の健康の関係を説明できる。 ③口腔清掃の意義を説明できる。 ④う蝕の疫学的特性を概説できる。 ⑤歯周疾患の疫学的特性を概説できる。 ⑥う蝕発生のメカニズム・発生要因を説明できる。 ⑦人間生態系におけるフッ化物の作用を理解できる。 ⑧ライフステージごとの口腔保健管理について説明できる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員	最新歯科衛生士教本「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版」	医歯薬出版	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 病院歯科において歯科医師、歯科衛生士の実務経験あり</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
口腔衛生学 I		30	村田雄司 吉田有里 大友さつき 浪岡多津子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	口腔衛生学の総論 歯・口腔の健康①	歯・口腔の健康の定義を説明する。 歯・口腔の構造を説明する。	
2 限	歯・口腔の健康②	歯・口腔の発生と成長・発育、歯・口腔の形成異常について列挙する。歯・口腔の機能、口腔と全身の健康について列挙する。	
3 限	歯・口腔の健康③	口腔と全身の健康について説明する。歯・口腔の付着物と沈着物について具体的に述べる。	
4 限	口腔清掃	口腔清掃方法の種類を説明できる。清掃用具の種類と特徴について列挙する。歯磨剤・洗口剤の種類と組成について列挙する。不適切な口腔清掃による為害作用について説明する。	
5 限	歯科疾患の疫学	う蝕の疫学的特性を概説できる。 歯周病の疫学的特性を概説できる。	
6 限	う蝕の予防①	う蝕発生のメカニズム・発生要因を説明する。う蝕のリスク評価・う蝕活動性試験について具体的に述べる。	
7 限	う蝕の予防②	う蝕の予防方法（第一次予防・第二次予防・第三次予防・セルフケア・プロフェッショナルケア・パブリックヘルスケア）を説明する。う蝕発生要因に対する予防法を説明できる。	
8 限	フッ化物によるう蝕予防①	フッ化物の摂取と代謝について説明する。フッ化物の毒性について説明できる。	
9 限	フッ化物によるう蝕予防②	歯のフッ素症に関する指標を具体的に述べる。フッ化物のう蝕予防機序について具体的に述べる。	
10 限	フッ化物によるう蝕予防③	う蝕予防へのフッ化物局所応用ーフッ化物歯面塗布・フッ化物配合歯磨剤について列挙する。う蝕予防へのフッ化物局所応用ーフッ化物洗口について説明する。	
11 限	フッ化物によるう蝕予防④	う蝕予防への全身応用について説明する。う蝕予防効果、う蝕抑制率について説明する。	
12 限	歯周疾患の予防 その他の疾患・異常の予防	歯周疾患の炎症の広がりと症状を説明できる。歯周疾患の予防段階について説明できる。 口臭・口腔乾燥症等について説明できる。	
13 限	ライフステージごとの口腔保健管理①	妊産婦期の口腔保健管理について説明できる。 乳幼児期の口腔保健管理について説明できる。	
14 限	ライフステージごとの口腔保健管理②	学齢期の口腔保健管理について説明できる。 思春期の口腔保健管理について説明できる。	
15 限	ライフステージごとの口腔保健管理③	成人期の口腔保健管理について説明できる。 老年期の口腔保健管理について説明できる。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 衛生学・公衆衛生学	教員名 菊池 要子	
科目時間数 : 30 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 1年次	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 環境を左右する環境衛生及び健康に関わる地域の役割である公衆衛生について理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 環境を左右する環境では、主として衛生学を取扱い、健康と予防医学の概念及び人間を取り巻く自然的・社会的環境要因と健康との関係について学ぶ。健康に関わる地域の役割では、公衆衛生学として集団を対象とした疾病予防と健康増進について行政の面からとらえ地域保健活動について学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①健康及び予防医学の概念を説明できる。 ②疫学の定義及び概要、方法を説明できる。 ③人口の動向、人口動態統計、生命表について説明できる。 ④健康と環境の関係を説明できる。 ⑤主な感染症とその動向を説明できる。 ⑥食中毒の分類と特徴を説明できる。 ⑦地域保健を担う組織の仕組み、特徴を理解できる。 ⑧ヘルスプロモーションやノーマライゼーションなどの考え方を理解できる。 ⑨地域保健の基本的な進め方を理解できる。 ⑩母子保健の目的及び概要を説明できる。 ⑪学校保健の意義及び概要を説明できる。 ⑫成人保険における生活習慣病のリスクファクターを列挙できる。 ⑬産業保健の概念を説明できる。 ⑭高齢者の保健対策を説明できる。 ⑮精神保健福祉行政の概要を概要を説明できる。 		
	使用教材	出版社
学生・教員	「デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学」 歯科衛生士教本「保健生態学」	医歯薬出版
【使用教室】		
1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()		
【評価方法】		
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()		
【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。		
評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。		
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
【内容】 病院での臨床経験等実務経験有		

科目名		科目時間総数	教員名
衛生学・公衆衛生学		30 時間	菊池 要子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	総論	健康の定義について述べる。プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの概要を説明できる。第一次予防、第二次予防、第三次予防を説明できる。	
2 限	人口	わが国と世界における人口の現状と推移を概説できる。人口統計における静態統計と動態統計を説明できる。各種人口動態統計の概要とわが国の特徴について説明できる。	
3 限	環境と健康	人間と環境、健康と環境の関係を説明できる。地球環境の変化とその対応を説明できる。廃棄物の種類と処理方法を列挙できる。	
4 限	疫学	疫学の定義を説明できる。疾病や異常の発生要因を列挙できる。疫学研究の方法を説明できる。	
5 限	感染症①	感染症の概念と感染成立の三要因を説明できる。感染症の分類とその内容を説明できる。	
6 限	感染症② 食品と健康①	主な感染症とその動向を説明できる。健康づくりのための食生活指針や食事バランスガイド、食育の推進について説明できる。	
7 限	食品と健康② 生活習慣と健康①	食品の安全性確保のための方策を列挙できる。主な生活習慣病について説明できる。	
8 限	生活習慣と健康② 地域保健①	健康日本21（第二次）におけるわが国の政策を説明できる。地域保健を担う組織の仕組みと特徴を概説できる。	
9 限	地域保健②	「健康日本21（第二次）」と「健康増進法」を概説できる。地域保健の基本的な進め方を概説できる。	
10 限	母子保健	わが国の母子保健の概略を説明できる。1歳6か月児・3歳児健康診査の目的を説明できる。	
11 限	学校保健①	学校保健の対象者を列挙し、意義を説明できる。学校保健関係職員を列挙し、役割を説明できる。学校において罹患率の高い疾病異常を列挙できる。学校における健康診断を概説できる。	
12 限	学校保健② 成人・高齢者保健①	学校保健委員会の構成と活動を概説できる。生活習慣病のリスクファクターを列挙できる。	
13 限	成人・高齢者保健②	成人および高齢者の保健対策を説明できる。要介護者の保健福祉対策、地域包括ケアシステムを概説できる。	
14 限	産業保健	産業保健の目的を説明できる。産業衛生に関する法律を列挙できる。職業性疾病を起こす要因を列挙できる。職域における健康診断の種類を説明できる。	
15 限	精神保健	精神保健の定義を説明できる。健康に関わる精神保健の意義を概説できる。精神保健活動の現状を概説できる。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	歯科衛生士概論	教員名	大友さつき
科目時間数 :	15	時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的】 歯科衛生業務を実践して人々の健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度及び論理的思考法の基礎を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 歯科衛生士についての業務や専門性について、講義や演習を通じて考えていく。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①歯科衛生について概説できる。 ②歯科衛生業務の構成要素を説明できる。 ③業務実践にあたって、クリティカルシンキング・批判的に思考する意義を説明できる。 ④歯科衛生過程の構成要素を列挙できる。 ⑤歯科衛生過程の構成要素それぞれの意味を説明できる。 ⑥対象者を第一に考えた健康づくりを支援する理由を説明できる。 ⑦業務記録の意義を説明できる。 ⑧歯科衛生の実践が倫理的であるべき理由を説明できる。 ⑨インフォームド・コンセントにおける患者・家族と保健医療者双方の権利と義務を説明できる。 ⑩歯科衛生業務の実践におけるコミュニケーション力の必要性を説明できる。 ⑪歯科衛生業務を実践するための判断力と習熟した技術が必要である理由を説明できる。 ⑫保健・医療・福祉分野の専門職の業務を概説できる。 ⑬他職種との連携の意義を説明できる。 ⑭チーム医療を概説できる。 ⑮医療安全対策の必要性と方策を概説できる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員	「歯科衛生学総論」	医歯薬出版	
【使用教室】			
①. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()			
【評価方法】			
①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 岩手県立中央病院歯科口腔外科において9年間の臨床経験あり			

科目名		科目時間総数	教員名
歯科衛生士概論		15 時間	大友さつき
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	概要	<p>歯科衛生学の定義を述べることができる。 歯科衛生士の誕生、歯科衛生業務の発展、歯科衛生士の養成制度の概要を説明できる。</p>	
2 限	歯科衛生活動のための理論	<p>予防の概念、歯科衛生の考え方を説明できる。 保健行動の理論を説明できる。</p>	
3 限	歯科衛生過程	<p>歯科衛生業務において、歯科衛生過程を活用する意義を理解する。 歯科衛生過程のプロセス、構成要素を説明できる。</p>	
4 限	歯科衛生士法と歯科衛生業務	<p>歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務について概説できる。 歯科衛生士の業務独占、名称独占、法的義務について説明できる。</p>	
5 限	歯科衛生士法と歯科衛生業務	<p>歯科衛生士の専門性、業務に関連する法規を概説できる。 安全管理についての法的責任について説明できる。</p>	
6 限	歯科衛生士と医療倫理	<p>医の倫理と患者の権利 歯科衛生と倫理について説明できる。 インフォームド・コンセント、インフォームド・チョイス、セカンドオピニオンについて説明できる。</p>	
7 限	歯科衛生士の活動・組織	<p>歯科衛生士の活動の領域と就業の推移を説明できる。 歯科衛生活動の場、歯科衛生士と組織活動を説明できる。</p>	
8 限	海外における歯科衛生士	<p>海外における歯科衛生士教育の内容、歯科衛生業務内容を概説できる。 （講義時間：1時間）</p>	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	歯科臨床概論	教員名	藤本 淳 山田優貴
科目時間数 :	15	時間	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	1 年次
		開講時期 :	(前期)・後期・集中
<p>【授業の目的】 歯科医療を担う一員となるため、各ライフステージに関わる歯科臨床の概要及び歯科衛生士の関係を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 教科書の内容と、臨床の実際を講義</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 歯科診療所を訪れる人とその理由を説明できる。 ② 歯科診療所における業務を時系列的に説明できる。 ③ 歯科臨床の各専門分野の名称を述べるができる。 ④ 歯科臨床の各専門分野の概要を説明できる。 ⑤ 歯科臨床の各専門分野における歯科衛生士の役割を説明できる。 			
	使用教材 (予定)	出版社	
学生・教員	「歯科衛生士のための歯科臨床概論」	医歯薬出版	
【使用教室】			
①. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()			
【評価方法】			
①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 歯科診療所での臨床経験等実務経験有			

科目名 歯科臨床概論		科目時間総数 15 時間	教員名 藤本 淳 山田優貴
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	歯科診療と歯科診療所	歯科診療の場や、歯科診療にかかわるスタッフをあげることができる。 インフォームド・コンセントについて説明できる。	
2 限	診査・検査・前処置	バイタルサインの流れについて述べる。 歯周組織検査項目をあげ、説明できる。	
3 限	小児歯科 矯正歯科	小児歯科治療の特徴について説明できる。 不正咬合の特徴と主な治療方法を説明できる。	
4 限	口腔外科	口腔外科治療の特徴について説明できる。口腔外科で取り扱う治療の流れを説明できる。	
5 限	歯科保存	保存修復の対象になる歯の硬組織疾患をあげることができる。歯内療法の治療法をあげることができる。	
6 限	歯周治療	歯周治療の流れ、治療内容について説明できる。歯周病と全身疾患の関連について述べる。	
7 限	歯科補綴	歯科補綴の分類について説明できる。クラウン・ブリッジ、有床義歯治療の流れを説明できる。	
8 限	障害者歯科・高齢者歯科	障害者歯科、高齢者歯科の特徴と歯科衛生士の役割について説明できる。 (授業時間：1時間)	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	保存修復・歯内療法		教員名	佐藤 史尚	
科目時間数：	20	時間	授業の種類：	講義・演習・実習	
必修・選択の別：	必修・選択	配当学年：	1年次	開講時期：	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 歯と歯髄に生じる疾患の種類、診断及び治療法の基本を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 最新の科学論理に基づいた対応、機器、材料、薬剤の特徴や使用法を把握し、疾患の予防と進行抑制を考慮し、予防、治療、メンテナンスを学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①歯の硬組織疾患の種類と原因、予防法、処置法を説明できる。 ②う蝕治療の流れ、前準備の概要を説明できる。 ③窩洞の構成と名称、分類と窩洞形態の原因を説明できる。 ④修復処置に使用する器材の概要を説明できる。 ⑤修復法の種類（直接修復・間接修復）と特徴を説明できる。 ⑥歯の切削器械・器具の種類と特徴を説明できる。 ⑦歯の変色の原因と処置法（歯の漂白）を説明できる。 ⑧Minimal Intervention Dentistry(MID)の意義を説明できる。 ⑨象牙質知覚過敏症の症状と原因、処置法を説明できる。 ⑩修復処置後の不快事項とメンテナンスを説明できる。 ⑪歯髄・根尖性歯周組織疾患の分類と症状・検査法を説明できる。 ⑫歯髄の保存療法（覆髄法）を説明できる。 ⑬歯髄の除去療法を説明できる。 ⑭根尖性歯周組織疾患（感染根管）を説明できる。 ⑮根管治療に用いる器材の使用法を説明できる。 ⑯根未完成歯の処置法を説明できる。 ⑰外科的歯内療法の種類・適応症及び処置法を説明できる。 ⑱外傷歯の治療法を説明できる。 ⑳歯内療法における偶発事故とその防止策を説明できる。 					
	使用教材		出版社		
学生・教員	歯科衛生士教本 「保存修復・歯内療法」		医歯薬出版		
【使用教室】					
1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室					
4. その他（ ）					
【評価方法】					
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度					
5. 実技試験 6. その他（ ）					
【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。					
評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点） D(59点以下)の4段階で評価する。					
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無					
【内容】 歯科診療所での臨床経験等実務経験有					

科目名 保存修復・歯内療法		科目時間総数 20 時間	教員名 佐藤 史尚
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	歯の保存療法の概要	歯科保存学の分類と原因、予防法、処置法を説明できる。歯および歯周組織検査の方法、使用器具を説明できる。	
2 限	保存修復	う蝕治療の流れ、前準備の概要を説明できる。窩洞の構成と名称、分類と窩洞形成の原則を説明できる。	
3 限	直接修復法	コンポジットレジン修復の種類と特徴、手順を説明できる。セメント修復の種類と特徴、手順を説明できる。	
4 限	間接法修復	インレー修復の種類と特徴、手順を説明できる。ベニア修復の種類と特徴、手順を説明できる。	
5 限	歯内療法学の概要	歯内療法領域の主な疾患と概要、原因を説明できる。歯髄・根尖性歯周組織疾患の分類と症状、検査法を説明できる。	
6 限	歯髄保存療法	歯髄鎮痛消炎療法の概略と歯髄鎮痛消炎薬を説明する。歯髄の保存療法（覆髄法）を説明できる。	
7 限	歯髄の除去療法 根管治療、根管充填①	歯髄の除去療法を説明できる。 根管治療の概念を説明する。根管治療に用いる器材の使用法を説明できる。	
8 限	根管治療、根管充填②	根管充填の目的、根管充填法の種類や術式および特徴を説明する。根未完成歯の処置法を説明できる。	
9 限	外科的歯内療法 歯の外傷	外科的歯内療法の種類・適応症および処置法を説明できる。 外傷歯の治療法を説明できる。	
10 限	歯内療法における安全 対策 歯の漂白	歯内療法における偶発事故とその防止策を説明できる。 歯の変色の原因と処置法を説明できる。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	歯周病学	教員名	藤本 淳
科目時間数 :	20	時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	担当学年 :	1 年次
		開講時期 :	前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法及び治療法を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 教科書の内容と、臨床の実際を講義</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①歯周病の種類と症状を説明できる。 ②歯周病の原因的事項について説明できる。 ③歯周治療の流れを説明できる。 ④歯周病の検査法と検査結果を説明できる。 ⑤歯周初期治療の術式と適応症を説明できる。 ⑥歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑦歯周外科手術の介助の概要を説明できる。 ⑧口腔機能回復治療の概要を説明できる。 ⑨歯周治療後の再評価ができる。 ⑩歯周治療後のメンテナンス（SPT）を説明できる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員	歯科衛生士教本「歯周病学」	医歯薬出版	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 <input type="checkbox"/> 4. その他 ()			
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 4. 授業態度 <input type="checkbox"/> 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点） D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 歯科診療所での臨床経験等実務経験有			

科目名 歯周病学		科目時間総数 20 時間	教員名 藤本 淳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	歯周病の基礎知識①	歯周治療の目的や意義を説明する。歯周治療に関わる習得すべき項目を列挙する。 歯周組織の構成要素をあげる。	
2 限	歯周病の基礎知識②	歯周病の種類と症状を説明できる。歯周病の原因について説明する。	
3 限	歯周治療の実際と歯科衛生士の役割①	歯周治療の基本的な考え方を述べる。歯周治療の進め方、歯周治療の内容を説明する。	
4 限	歯周治療の実際と歯科衛生士の役割②	一般診査による判定方法、歯周組織の破壊程度の診査方法について説明する。問診で得られる情報と留意点を説明する。	
5 限	歯周治療の実際と歯科衛生士の役割③	歯周基本治療の目的と効果、内容について説明できる。歯周基本治療の方法、歯周基本治療における歯科衛生士の役割を説明する。	
6 限	歯周治療の実際と歯科衛生士の役割④	歯周外科治療の目的および分類を述べる。歯周外科治療の適応を説明する。	
7 限	歯周治療の実際と歯科衛生士の役割⑤	歯周外科治療に使用する器具の名称および用途を説明する。歯周外科治療における各手術の適応症および禁忌症を説明する。	
8 限	歯周治療の実際と歯科衛生士の役割⑥	歯周外科治療の術後の注意点を説明する。歯周治療における咬合調整、矯正治療の意義を説明する。	
9 限	歯周治療の実際と歯科衛生士の役割⑦	固定法の意義や種類を説明する。メンテナンス、SPTの重要性と意義について説明できる。	
10 限	歯周治療の実際と歯科衛生士の役割⑧ ペリオドンタルメディシン	メンテナンス、SPTの内容、患者教育について説明できる。 歯周病が全身疾患に及ぼす影響について説明できる。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 う蝕予防処置 I	教員名 浪岡多津子
科目時間数 : 30 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識、技術および態度を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 う蝕予防処置法（フッ化物歯面塗布法、フッ化物洗口法）やその他関連項目（う蝕活動性試験）の目的、方法、所要条件、実施上の注意事項等の知識および実践を学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① う蝕予防処置の応用について説明できる。 ② う蝕予防処置の臨床的効果、作用機序、安全性、および便宜性を説明できる。 ③ う蝕活動性試験を説明できる。 ④ フッ化物によるう蝕予防法を説明できる。 ⑤ フッ化物歯面塗布の使用薬剤の種類と濃度、および取り扱い方を説明できる。 ⑥ フッ化物歯面塗布の術式を説明できる。 ⑦ フッ化物歯面塗布を実施できる。 ⑧ フッ化物歯面塗布実施上の注意点を説明できる。 ⑨ フッ化物洗口法の使用製剤の種類と濃度、および取り扱い方を説明できる。 	
	使用教材
学生・教員	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 「歯科衛生士のための齲蝕予防処理法第2版」
	出版社
	医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR ②. 基礎実習室 ③. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 病院歯科において歯科衛生士の実務経験あり</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
う蝕予防処置 I		30	浪岡多津子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	う蝕予防処置法とは う蝕の知識①	う蝕予防処置法の範囲、種類を列挙できる。 う蝕予防処置法における歯科衛生士の役割を説明できる。 う蝕の成り立ち、プラークのなりたちとう蝕について説明する。	
2 限	う蝕の知識② う蝕活動性試験①	う蝕予防の臨床的効果を列挙する。 う蝕活動性試験について説明する。	
3 限	う蝕活動性試験②	評価方法の種類と特徴を述べる。う蝕活動性試験を分類できる。	
4 限	う蝕活動性試験③	う蝕活動性試験の実際について説明する。 実技：う蝕活動性試験を実施する。	
5 限	う蝕活動性試験④	実技：う蝕活動性試験を実施する。 う蝕活動性試験の評価結果に基づく予防と治療について説明する。	
6 限	フッ化物の応用①	フッ化物の基礎知識について説明できる。フッ化物の基礎知識について説明できる。	
7 限	フッ化物の応用②	生体におけるフッ化物の吸収・沈着・排泄について説明する。フッ化物の毒性について説明できる。	
8 限	フッ化物の応用③	悪心・嘔吐発現フッ化物用液量の算出を行う。フッ化によるう蝕予防法を説明できる。	
9 限	フッ化物歯面塗布法①	フッ化物歯面塗布法の種類を列記する。効果的な塗布の時期を述べる。使用製剤の種類と特徴を説明できる。	
10 限	フッ化物歯面塗布法②	フッ化物溶液の保管、使用量の確認について説明できる。術式と塗布後の注意事項について説明できる。	
11 限	フッ化物歯面塗布法③	演習：フッ化物溶液の味を確認する。 演習：綿球・綿棒に含まれる溶液量を計量する。	
12 限	フッ化物歯面塗布法④	演習：綿球中のフッ化物量を計算する。 マネキン実習：フッ化物歯面塗布法を実施する。	
13 限	フッ化物歯面塗布法⑤	実技 相互実習：フッ化物歯面塗布法を実施する。	
14 限	フッ化物洗口法①	フッ化物洗口法に使われるフッ化物の種類を列挙できる。フッ化物洗口法の種類と方法について説明できる。	
15 限	フッ化物洗口法②	演習：フッ化物洗口に用いられる溶液を準備する。 洗口液の保管・管理、注意事項を説明できる。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 歯周病予防処置 I	教員名 大友さつき 小田郁子
科目時間数 : 90 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 歯周疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持増進するために歯科衛生士としての専門的な知識技術を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 講義を通し歯周病予防処置法に関する知識を学び、スクレーリング操作を習得するための演習や実習が中心となる。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 歯科衛生士法における歯科予防処置法の位置づけについて述べるができる。 ② 歯周疾患の発症・進行・治療・予防の方法について概要を述べるができる。 ③ 歯周組織検査に必要な器具の取扱いについて基本的な操作を行うことができる。 ④ 予防的歯石除去法に必要な器具の取扱いについて基本的な操作を行うことができる。 ⑤ 歯面清掃研磨に必要な器具の取扱いについて基本的な操作を行うことができる。 ⑥ 歯科診療室（実習室）において、清潔・不潔を区別した口腔内外操作を行うことができる。 ⑦ 口腔内操作などにおいて患者の心理に配慮できる。 ⑧ 歯周疾患の発症・進行・治療・予防の方法について説明できる。 ⑨ 歯周組織検査、予防的歯石除去、歯面清掃研磨を顎模型上で行うことができる。 ⑩ 実施した操作や患者への対応について考察できる。 	
使用教材	出版社
学生・教員	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 歯科医療機関において歯科衛生士の実務経験有</p>	

科目名		科目時間総数		教員名	
歯周病予防処置 I		90	時間	大友さつき	小田郁子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1 限	総論	講義	歯科衛生士法、歯科予防処置、歯周疾患とは 対象となる歯牙及び歯周組織		
2 限	総論	講義	口腔内の付着物・沈着物・プラーク・歯石 対象となる歯牙及び歯周組織－口腔内観察		
3 限	スクレーリングの概要	講義	手用スクレーラーの使用目的 手用スクレーラーの把持法 操作の基本（固定・適正角度・適切な側方 圧・ストローク）		
4 限	スクレーリングの概要	演習	手用スクレーラーの把持法 操作の基本（固定・適正角度・適切な側方 圧・ストローク）		
4 限	スクレーリングの概要	講義	手の動かし方 姿勢 患者頭部 術者ポジション		
5 限	スクレーリングの概要	演習	手の動かし方 姿勢 患者頭部 術者ポジション 手の動かし方（前腕回転運動・手指屈伸運動・手根関節運動）		
5 限	スクレーリングの概要	演習	演習：手の動かし方		
6 限	スクレーリングの概要	講義	手用スクレーラーの種類と特徴－シッケルスケーラー		
6 限	スクレーリングの概要	講義	手用スクレーラーの種類と特徴－キュレットスケーラー		
7 限	シッケルスケーラーの 基本操作	講義	シッケルスケーラーの操作上の注意		
7 限	シッケルスケーラーの 基本操作	演習	演習：シッケルスケーラーの操作上の注意		
8 限	キュレットスケーラー の基本操作	講義	キュレットスケーラーの挿入角度 操作角度		
9 限	キュレットスケーラー の基本操作	実技	顎模型での挿入角度、操作角度の確認		
10 限	キュレットスケーラー の基本操作	講義	探針の基本操作、デンタルミラーの役割・使用上の注意 マネキンの取扱い方法		
10 限	キュレットスケーラー の基本操作	演習	演習：探針の基本操作、デンタルミラーの役割・使用上の注意		
11 限	キュレットスケーラー の操作	講義	部位別の使用スケーラー、術者の位置、患者の位置		
11 限	キュレットスケーラー の操作	演習	部位別の使用スケーラー、術者の位置、患者の位置		
12 限	キュレットスケーラー の操作	講義	演習：部位別の使用スケーラー、術者の位置、患者の位置①		
13 限	キュレットスケーラー の操作	演習 実技	演習：部位別の使用スケーラー、術者の位置、患者の位置② マネキン実習：下顎前歯 唇側		
14 限	キュレットスケーラー の操作	実技	マネキン実習：下顎前歯 舌側 上顎前歯 唇側		
15 限	キュレットスケーラー の操作	実技	マネキン実習：上顎前歯 口蓋側 下顎左側臼歯 頬側		
16 限	キュレットスケーラー の操作	実技	マネキン実習：下顎左側臼歯 舌側 下顎右側臼歯 頬側		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
17 限	キュレットスケーラーの操作	実技	マネキン実習：下顎右側臼歯 舌側 上顎左側臼歯 頬側
18 限	キュレットスケーラーの操作	実技	マネキン実習：上顎左側臼歯 口蓋側 上顎右側臼歯 頬側
19 限	キュレットスケーラーの操作	実技 講義	マネキン実習：上顎右側臼歯 口蓋側 人工歯石の取扱い、顎模型へ人工歯石の塗布
20 限	キュレットスケーラーの操作	実技	マネキン実習：下顎前歯 上顎前歯
21 限	キュレットスケーラーの操作	実技	マネキン実習：下顎左側臼歯 下顎右側臼歯 マネキン実習：上顎右側臼歯
22 限	キュレットスケーラーの操作	実技	実技試験：キュレットスケーラー操作の確認①
23 限	キュレットスケーラーの操作	実技	実技試験：キュレットスケーラー操作の確認②
24 限	歯周組織検査法	講義	歯周組織検査の目的 各検査項目と使用器具
25 限	歯周組織検査法	演習 講義	プロービングの操作方法 留意点 記録方法 プローブの種類 目盛の読み方 挿入圧
26 限	歯周組織検査法	実技	マネキン実習：歯周組織検査法
27 限	歯面研磨法	講義	歯面研磨の目的 種類 歯面研磨剤 コントラアングルハンドピースの取扱い 術者の位置
28 限	歯面研磨法 シックルスケーラー操作	実技 講義	マネキン実習：歯面研磨法 シックルスケーラーの特徴 シックルスケーラー操作の確認
29 限	シックルスケーラー操作	実技 講義	マネキン実習：部位別操作 口腔内洗浄 術者のバキューム操作
30 限	口腔内実習の基本	実技 講義	歯石の探知 臨床歯科実習室の使用について 留意点
31 限	口腔内実習の基本	実技	手指消毒 器具の消毒滅菌 環境整備
32 限	口腔内実習の基本	実技	臨床歯科実習室：器具準備 消毒滅菌
33 限	口腔内実習の基本	実技	臨床歯科実習室：環境整備 術者 アシスタントの位置

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
34 限	口腔内実習の基本 相互実習 口腔内洗浄	実技	臨床歯科実習室：術者 アシスタントの位置 器具準備 環境整備 清潔・不潔について
35 限	相互実習 口腔内洗浄	実技	患者誘導 術者 補助者の役割 口腔内消毒・洗浄
36 限	相互実習 口腔内洗浄	実技	患者誘導 術者 補助者の役割 口腔内消毒・洗浄 器具の消毒 滅菌 環境整備
37 限	相互実習 口腔内洗浄 触診とシックル・キュ レットスケーラ操作	実技 実技	器具の消毒 滅菌 環境整備 人工歯石の取扱い、顎模型へ人工歯石の塗布
38 限	触診とシックル・キュ レットスケーラ操作	実技	マネキン実習：下顎前歯 唇側 舌側
39 限	触診とシックル・キュ レットスケーラ操作	実技	マネキン実習：上顎前歯 唇側 口蓋側
40 限	触診とシックル・キュ レットスケーラ操作	実技	マネキン実習：下顎左側臼歯 頬側 舌側
41 限	触診とシックル・キュ レットスケーラ操作	実技	マネキン実習：下顎右側臼歯 頬側 舌側
42 限	触診とシックル・キュ レットスケーラ操作	実技	マネキン実習：上顎左側臼歯 頬側 口蓋側
43 限	触診とシックル・キュ レットスケーラ操作	実技	マネキン実習：上顎右側臼歯 頬側 口蓋側
44 限	スケーラーのシャープ ニング	講義	シャープニングの必要性 使用器具 自分のスケーラーの切れ味の確 認
45 限	スケーラーのシャープ ニング	実技	シャープニングの手順 ストーンと刃部の角度 ストーンの動かし方 シャープニング後のスケーラーの切れ味の確認
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 歯科保健指導 I	教員名 大友さつき	
科目時間数 : 90 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する</p> <p>【授業全体の内容の概要】 講義・実習を通じて、国民の生涯を通じた口腔健康の維持管理能力を高めるための歯科保健指導を遂行する能力を養う。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①健康の定義を説明できる。 ②歯科保健指導に関わる理論と行動変容を説明できる。 ③口腔清掃や歯周疾患の指数を説明できる。 ④歯ブラシの種類と特徴を説明できる。 ⑤各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 ⑥各種ブラッシング方法を実施できる。 ⑦補助的清掃器具の種類と特徴、適応を説明できる。 ⑧食生活指導の方法を説明できる。 ⑨喫煙者に対する指導の方法を説明できる。 ⑩各ライフステージの特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 		
	使用教材	出版社
学生・教員	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」	医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR ②. 基礎実習室 ③. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 病院歯科において歯科衛生士の実務経験あり</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
歯科保健指導 I		90	大友さつき
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	保健指導の概要	保健指導の定義を説明できる。歯科保健指導の法的位置づけを説明できる。	
2 限	健康の概念	健康の定義、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションを説明できる。日本の健康増進施策を列挙し、説明できる。	
3 限	保健行動と行動変容	保健行動の要因を説明できる。行動変容の理論を健康信念モデルにあわせて説明できる。	
4 限	歯・口腔内の情報把握①	正常な口腔、歯周組織の構成要素をあげる。口腔の機能について説明できる。	
5 限	歯・口腔内の情報把握②	健康な歯肉と病的な歯肉を区別できる。演習：自分自身の口腔観察を行う。	
6 限	口腔内の汚れ	口腔内の付着物・沈着物をあげる。	
7 限	分析のためのデータ①	PCR 演習：指数算出する。 OHI 演習：指数算出する。	
8 限	分析のためのデータ②	OHI-S 演習：指数算出する。 PII 演習：指数算出する。	
9 限	分析のためのデータ③	PHP 演習：指数算出する。 PMA Index 演習：指数算出する。	
10 限	分析のためのデータ④	PI GI 演習：指数算出する。 CPI 演習：指数算出する。	
11 限	口腔清掃法①	歯ブラシの使用目的を列挙できる。手用歯ブラシの各部の名称を述べる。	
12 限	口腔清掃法②	電動歯ブラシの種類と特徴を説明できる。音波ブラシと超音波歯ブラシの違いを説明できる。	
13 限	口腔清掃法③	各種ブラッシング法1 実技：毛先を使ったブラッシング方法を実施する。	
14 限	口腔清掃法④	各種ブラッシング法2 実技：わき腹を使ったブラッシング方法を実施する。	
15 限	口腔清掃法⑤	デンタルフロスの種類と適応について説明する。実技：デンタルフロスを操作する。	
16 限	口腔清掃法⑥	歯間ブラシ 実技：歯間ブラシを使用する。 タフトブラシ 実技：タフトブラシを使用する。	
17 限	口腔清掃法⑦	歯磨剤について説明できる。洗口剤の特徴と使用方法を説明できる。	
18 限	口腔清掃法⑧	歯垢染色剤の使用法と特徴について説明できる。 演習：歯垢染色剤を取り扱う。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
19 限	口腔清掃法⑨	実技：自身の口腔内観察後、歯垢染色・指数算出・ブラッシングを行う。
20 限	口腔清掃法⑩	実技 相互実習：歯垢染色後、指数算出を行う。
21 限	口腔清掃法⑪	実技 相互実習：歯垢染色後、指数算出を行う。
22 限	口腔清掃法⑫	実技 相互実習：ブラッシング指導を実践する。
23 限	口腔清掃法⑬	実技 相互実習：ブラッシング指導を実践する。
24 限	口腔清掃法⑭	スポンジブラシ 実技：スポンジブラシを操作する。 舌ブラシ 実技：舌ブラシを操作する。
25 限	口腔清掃法⑮	義歯用ブラシ 実技：義歯ブラシを使用できる。 口腔ケア用品を列記できる。
26 限	食生活指導の基礎①	食生活・食習慣の背景を知り、現代における問題点を説明できる。栄養素とその働きを説明できる。
27 限	食生活指導の基礎②	食品とう蝕の関連性を説明できる。糖類とう蝕の関連性を説明できる。
28 限	食生活指導の基礎③	う蝕予防のための食品摂取方法を説明できる。咀嚼の働きを知り、その効用を説明できる。
29 限	食生活指導の進め方	歯科における食生活指導の重要性を説明できる。食生活指導の方法と要点、シュガーコントロールについて説明できる。
30 限	喫煙者に対する指導	喫煙状況のアセスメントができる。禁煙ステージのアセスメントと禁煙支援のポイントを説明できる。
31 限	ライフステージにおける歯科衛生介入①	ライフステージの分類を列記する。生涯を通じた歯科保健対策の概要を説明できる。
32 限	ライフステージにおける歯科衛生介入②	妊産婦期の一般的特徴・口腔の特徴を説明できる。妊産婦期の歯科保健指導について説明できる。
33 限	ライフステージにおける歯科衛生介入③	妊娠期、授乳期に必要な栄養素と摂取基準を説明できる。妊産婦期の食生活指導のポイントを列挙できる。
34 限	ライフステージにおける歯科衛生介入④	新生児期・乳児期の一般的特徴・口腔の特徴を説明できる。新生児期・乳児期の歯科保健指導について説明できる。
35 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑤	新生児期・乳児期の栄養、離乳までの栄養摂取について説明できる。離乳期の食生活指導のポイントを列挙できる。
36 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑥	幼児期の一般的特徴・口腔の特徴を説明できる。幼児期の歯科保健指導について説明できる。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
37 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑦	幼児期の食生活の特徴と栄養について説明できる。間食について説明できる。
38 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑧	学齢期の一般的特徴・口腔の特徴を説明できる。学校で取り組むべき歯・口の健康づくりの課題について列挙できる。学校歯科健康診査結果について説明できる。
39 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑨	学齢期の食生活の特徴と栄養について説明できる。学齢期における食育の重要性、食生活指導について説明できる。
40 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑩	青年期の一般的特徴・口腔の特徴を説明できる。青年期の歯科保健指導について説明できる。青年期の食生活の特徴と栄養、食生活指導について説明できる。
41 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑪	成人期の一般的特徴・口腔の特徴を説明できる。成人期の歯科保健指導について説明できる。
42 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑫	成人期の食生活の特徴と栄養、肥満と生活習慣病について説明できる。成人期の食生活指導について説明できる。
43 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑬	老年期の一般的特徴・口腔の特徴を説明できる。老年期の歯科保健指導について説明できる。老年期の食生活の特徴と栄養、食生活指導について説明できる。
44 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑭	要介護高齢者の一般的特徴・口腔の特徴を説明できる。障害高齢者の日常生活自立度判定基準を列挙できる。要介護者高齢者の歯科保健指導について説明できる。
45 限	ライフステージにおける歯科衛生介入⑮	要介護高齢者の食生活の特徴と栄養、食生活指導について説明できる。障害者の一般的特徴・口腔の特徴を説明できる。障害者の歯科保健指導について説明できる。
	試験	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 歯科診療補助 I	教員名 浪岡多津子 小田郁子
科目時間数 : 90 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 専門的な歯科診療の補助のために必要な基礎的知識、技術および態度を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 歯科診療を効果的に進めるための、共同動作や基本的な診療補助の技術を習得する。また、診療に使用する各歯科材料や機器の基礎知識を認識し、取扱い方法やその留意点を理解する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 歯科診療の補助における歯科衛生士の役割を説明できる。 ② 歯科診療の補助と歯科診療の介助の違いを説明できる。 ③ 標準予防策ができる。 ④ 医療廃棄物の取扱いができる。 ⑤ 歯科用ユニット、ユニット周辺機器の管理ができる。 ⑥ 診療に応じたバキューム操作ができる。 ⑦ 診療に応じた器具の受け渡しができる。 ⑧ 歯科治療で用いられる主要歯科材料の取扱いができる。 ⑨ 薬品、歯科材料の管理ができる。 ⑩ 診療に使用する機器の取扱いができる。 	
	使用教材
学生・教員	出版社
	「歯科診療補助論 第2版」 「歯科機器」 「歯科材料」
	医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR ②. 基礎実習室 ③. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点） D(59点以下) の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 病院歯科において歯科衛生士の実務経験あり</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
歯科診療補助 I		90	浪岡多津子 小田郁子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	歯科診療補助の概念	歯科衛生士の業務と歯科診療補助について説明できる。診療補助業務と他の医療職種、診療の補助の範囲の法的变化について説明できる。	
2 限	医療安全と感染予防①	医療安全の概念を説明できる。歯科診療時の偶発事故の例をあげる。歯科医療における感染症の概念とその対策を説明できる。標準予防策を具体的に説明できる。防護具の種類を列挙する。	
3 限	医療安全と感染予防②	手指衛生の分類、感染を予防するための基本的手法、擦式手指消毒の手順を説明できる。グローブ装着・外し方の手順を述べる。	
4 限	医療安全と感染予防③	実技：手指衛生（手指消毒）、マスク・未滅菌グローブの装着、外し方を身につける。	
5 限	滅菌と消毒①	滅菌・消毒・洗浄の定義を説明できる。滅菌の方法について説明できる	
6 限	滅菌と消毒②	滅菌、消毒、洗浄の方法について説明できる。歯科用器材の滅菌消毒と管理について説明できる。	
7 限	医療廃棄物の取扱い	医療廃棄物の分類と分別を説明できる。歯科診療室で発生する廃棄物について説明できる。	
8 限	歯科診療室の基礎知識①	歯科診療室の環境、構造、設備について説明できる。歯科診療における機器の管理について説明できる。	
9 限	歯科診療室の基礎知識②	歯科用ユニット、ユニット周辺機器の用途と特徴について説明できる。診療用器材（一般検査用機器）の用途と特徴を説明できる。	
10 限	歯科診療室の基礎知識③	演習：実習室の使い方（準備・後始末）を身につける。演習：ユニット操作、ユニット周辺機器取扱い方法を身につける。	
11 限	歯科診療室の基礎知識④	演習：洗浄方法、滅菌器の取扱い、消毒薬管理を身につける。薬品・歯科材料の管理について説明できる。	
12 限	共同動作①	共同動作の概念を述べることができる。ポジショニング・ライティングについて説明できる。 実技 相互実習：患者誘導、適切なポジショニング・ライティングを実施する。	
13 限	共同動作②	器具の受け渡しについて説明できる。 演習：器具の受け渡しを実践する。	
14 限	共同動作③	フォーハンドテクニック、バキュームテクニックの基本動作を説明できる。スリーウェイシリンジの使用目的を列挙する。	
15 限	共同動作④	実技 マネキン実習：バキューム、スリーウェイシリンジの基本操作を実践する。	
16 限	共同動作⑤	実技 相互実習：バキュームテクニックの基本動作を実践する。	
17 限	共同動作⑥	実技 相互実習：バキュームテクニックの基本動作を実践する。	
18 限	共同動作⑦	実技 相互実習：バキューム・フォーハンドテクニックの基本動作を実践する。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
19 限	共同動作⑧	実技 相互実習：バキューム・フォーハンドテクニックの基本動作を 実践する。
20 限	切削用機器①	手用機器、回転切削器具、その他の切削用機器について説明できる。 演習：回転切削器具の取扱いを行う。
21 限	歯科材料の基礎知識	歯科材料の素材を説明できる。歯科材料の所要性質、基本的性質、取 扱いについて説明できる。
22 限	印象材Ⅰ①	印象採得の基礎知識、種類と用途について説明できる。 演習：アルジネート印象材の練和と印象用トレーを試適する。
23 限	印象材Ⅰ②	実技 マネキン実習：アルジネート印象材による概形印象採得を行 う。
24 限	模型用材料	石膏の種類と用途、取扱い、一般的性質について説明できる。 演習：各種石膏の取扱い、モデルトリマーを取扱いを行う。
25 限	印象採得・模型作成Ⅰ	実技 マネキン実習：局部トレーで概形印象採得後、普通石膏を注入 する。
26 限	印象採得・模型作成Ⅱ ①	実技 マネキン実習：全顎概形印象採得後、普通石膏を注入する。
27 限	印象採得・模型作成Ⅱ ②	演習：モデルトリマーの取り扱い、スタディモデルを作製を行う。
28 限	印象採得・模型作成Ⅲ ①	実技 相互実習：全顎概形印象採得後、歯科用石膏を注入する。
29 限	印象採得・模型作成Ⅲ ②	演習：モデルトリマーの取扱い、スタディモデルを作製する。
30 限	合着・接着の補助①	合着材・接着材の種類と用途、一般的性質について説明できる。取扱 い、練和法、患者に説明しておくべき事項を説明できる。
31 限	合着・接着の補助②	演習：各種セメントを練和する。 演習：各種セメント練和、接着性レジンセメントの取扱いができる。
32 限	成形歯冠修復の補助①	成形修復材の種類と用途、成形修復用機器について説明できる。成形 修復材の取扱い、接着システムについて説明できる。
33 限	成形歯冠修復の補助②	演習：成形修復材の取扱いができる。
34 限	仮封・仮着の補助	仮封材・仮着材の種類と用途、特徴、取扱いについて説明できる。 演習：仮封材・仮着材の取扱いを行う。
35 限	印象材Ⅱ①	寒天印象材の特徴、取扱い、使用機器について説明できる。 演習：寒天印象材を取扱いができる。
36 限	印象材Ⅱ②	実技 マネキン実習：寒天・アルジネート連合印象採得を行う。 演習：歯科用石膏を注入する。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
37 限	印象材Ⅲ①	合成ゴム質印象材の特徴、取扱い、使用機器について説明できる。その他の印象材の取扱い、印象材の一般的性質を説明できる。
38 限	印象材Ⅲ②	演習：印象材の取扱いができる。（合成ゴム質、コンパウンド等）
39 限	ワックスの基礎知識	ワックスの種類と用途、一般的性質について説明できる。 演習：ワックスの取扱いを行う。
40 限	金属	金属と合金、金属の用途について説明できる。金属の種類を列挙する。
41 限	セラミックス その他の歯科材料	歯冠修復用セラミックの分類と種類について説明できる。 演習：歯周パック、歯科用シーラーを取扱う。
42 限	衛生材料	衛生材料の使用目的と種類、作成方法を説明できる。 演習：衛生材料の作成を行う。（綿球、ロール綿、綿栓）
43 限	局所麻酔と診療補助	局所麻酔の基礎的知識を説明する。 演習：局所麻酔の準備と後始末を身につける。
44 限	口腔内写真撮影①	口腔内写真撮影の目的、使用器具、撮影方法を説明できる。 演習：撮影用カメラの準備を身につける。
45 限	口腔内写真撮影②	実技 マネキン実習：口腔内写真撮影を行う。
		試験

科目名 臨床・臨地実習 I	科目時間総数 45 時間	教員名 臨床・臨地実習指導者
時間数	主な学習内容と到達目標	
歯科診療所実習 1日7時間×3日＝21時間 1日8時間×3日＝24時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医療機関の概要について列挙する。 ・ 歯科診療所に勤務する職員の業務内容を説明できる。 ・ 歯科診療所に来院する患者および指導者に対し、笑顔で挨拶する。 ・ 実習内容を記録にまとめることができる。 	
計 6日間 45時間		

科目名		科目時間総数	教員名
接遇講座		15 時間	大村洋子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	接遇の基本	接遇の目的と信頼関係の大切さについて説明できる。 信頼関係をつくるものは何かを説明できる。	
2 限		演習 汎用性のある電話応対の基本ができる。 場面を意識した電話対応ができる。	
3 限		演習 敬語の必要性がわかる。 場面に合った言葉使いができる。	
4 限		演習：正しい敬語を話すことができる。＋ミニテスト	
5 限		演習 効果的な話し方、表現力を実践できる。 好印象のしぐさを説明できる。	
6 限		演習 状況に応じたお辞儀と挨拶ができる。 葉書や手紙について書き方の形式を説明できる。	
7 限		演習 場面に適した手紙の文章を書くことができる。 医療人としての心構えを説明できる。	
8 限		臨床における見学時の注意点について説明できる。 (授業時間：1時間)	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 地域福祉実践	教員名 大友さつき 浪岡多津子
科目時間数 : 30 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年生 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的】 地域福祉とは、それぞれの地域において人々が安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方である。このことを理解し、自主的なボランティア活動について、計画、実行、確認、振り返りを通じて、活動する自分自身も豊かな心を得ることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 地域福祉について理解を深め、今まで経験したボランティアについて全体で共有し、今後の活動について考える。学生全体及び学生各自のボランティア活動について、実現可能な内容の検索、立案、実施、振り返りを行う。最後に1年次の全活動について、内容等の確認を行い次年度以降の取り組みについての課題等を明らかにする。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域福祉及びボランティアの意義を説明できる。 ②ボランティア活動を支える仕組みを説明できる。 ③活動する上での注意点を説明できる。 ④多様なボランティア活動の例を述べることができる。 ⑤活動についての計画を立てることができる。 ⑥活動先との連絡調整を自ら行うことができる。 ⑦ボランティア活動を通じて対象者、参加者等と適切なコミュニケーションを取ることができる。 ⑧実践した地域福祉実践の内容を述べることができる。 	
	使用教材
学生・教員	関係プリント
<p>【使用教室】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 4. その他 (ボランティア活動の場)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 歯科衛生士としての歯科臨床における実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
地域福祉実践		30 時間	大友さつき 浪岡多津子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	地域福祉とは	演習：地域福祉、ボランティアの意義を説明できる。 今まで経験したボランティア活動についてグループワークを通し具体的に述べるができる。	
2 限	ボランティア活動とは	演習：ボランティア活動を支える仕組みを説明できる。多様なボランティア活動の例を具体的に述べるができる。	
3 限	ボランティア活動とは	演習：活動する上での注意点を説明できる。ボランティア活動の参加の仕方を説明できる。	
4 限	ボランティア活動の準備	演習：ボランティア活動の内容を列挙することができる。クラス全体のボランティア活動についてグループワークを通し具体的に述べるができる。	
5 限	ボランティア活動の準備	演習：各自のボランティア活動の計画（時期・場所・内容）を列挙することができる。各自のボランティア活動の活動先との連絡方法を具体的に説明できる。	
6 限	ボランティア活動の準備	演習：各自のボランティア活動の計画、活動先との連絡方法を文書として提出することができる。ボランティア活動（初回）の実施に向けて、活動先との連絡を具体的にを行うことができる。	
7 限	ボランティア活動の準備	演習：ボランティア活動の活動先や対象者への態度、コミュニケーションについて具体的に述べるができる。実施するボランティア活動の場所、内容の事前確認について説明することができる。	
8 限	ボランティア活動の実践	演習：クラス全体でのボランティア活動に参加することができる。	
9 限	ボランティア活動の実践	演習：クラス全体でのボランティア活動に参加することができる。	
10 限	ボランティア活動の実践	演習：各自のボランティア活動を計画、実施、振り返りを行うことができる。	
11 限	ボランティア活動の実践	演習：各自のボランティア活動を計画、実施、振り返りを行うことができる。	
12 限	ボランティア活動の実践	演習：各自のボランティア活動を計画、実施、振り返りを行うことができる。	
13 限	ボランティア活動の実践	演習：各自のボランティア活動を計画、実施、振り返りを行うことができる。	
14 限	地域福祉実践のまとめ	演習：地域福祉実践報告会に向けて報告内容の選択ができる。地域福祉実践報告会の資料を作成することができる。	
15 限	地域福祉実践のまとめ	演習：地域福祉実践報告会において内容を整理して述べるができる。各自のボランティア活動について今後の課題を記述することができる。	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 歯科英語	教員名 川村 繭子
科目時間数: 15 時間	授業の種類: 講義・演習・実習
必修・選択の別: 必修・選択	配当学年: 2年生
開講時期: 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 英語を主体とするコミュニケーション能力を身につける 歯科に必要な英語を身につける	
【授業全体の内容の概要】 ・自分の事を英語で表現できるようになる。 ・英語でコミュニケーションをとりながら、クラスメートを知り、より発話しやすい環境をつくる。 ・主に歯科医院に必要な簡単な英単語がとっさに言える瞬発力を高める。 ・歯科医院に必要な英語表現を実際に発話できるように導く。	
【授業における達成課題】 ・積極的に英語でコミュニケーションをとる意欲を育て、わからないことを抵抗なく質問したり、考えたり、答えたり、反応したりすることができるようになる。 ・主に歯科医院に必要な英会話表現をとっさに発話できるようになる。 ・職場でも必要に応じて積極的に英語を使うことができるようになる。	
	使用教材
学生・教員	歯科英語
教師参考用	クイズチャンツ おもてなしチャンツ
	出版社
医歯薬出版株式会社	mpi 松香フォニックス出版 mpi 松香フォニックス出版
【使用教室】 1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他()	
【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験(プレゼンテーション) 6. その他()	
【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について: 筆記試験及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点) D(59点以下)の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無	
【内容】 同専門学校他学科での英語指導経験・他大学校での英語指導経験 等	

科目名		科目時間総数	教員名
歯科英語		15 時間	川村繭子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1年次の復習 簡単な英会話表現	Reviewing learned expressions How many _____ are there in _____? の表現 にとっさに答える	
2 限	患者に治療の同意を得る対応	Part1-10: Informed Consent	
3 限	簡単な英会話表現 子どもの患者に歯の磨き方を教える対応	What's the first letter of _____? の表現 にとっさに答える Part1-13: Tooth Brushing for a Child	
4 限	子どもの患者に歯の磨き方を教える対応 簡単な英会話表現	Part1-13: Tooth Brushing for a Child Welcome to Japan! に関連した表現 を英語でとっさに言う	
5 限	おとなの患者に歯の磨き方を教える対応	Part1-14: Tooth Brushing for an Adult	
6 限	簡単な英会話表現 治療後の対応	Quick Responses 英語の質問にとっさに英語で答える Part1-16: After Treatment	
7 限	治療後の対応 まとめ	Part1-16: After Treatment 確認テスト	
8 限	まとめ	ふりかえり (授業時間:1時間)	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 コミュニケーション論	教員名 赤澤徳俊 小田嶋夕美（手話）	
科目時間数 ： 15 時間	授業の種類 ： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 ： 2年生	開講時期 ： <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的】 コミュニケーションの概念・スキルを学び、臨床におけるコミュニケーションの役割を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 学生時代と社会生活ではコミュニケーションの質が変わってきます。特に「分かりやすく伝える」「相手に寄り添う」などを座学とワークショップを通して学びます。</p> <p>手話の基本、歯科診療の場面を想定した応用を学ぶとともに、障がいを持った方に対する心遣いを学びます。</p> <p>【授業における達成課題】 それぞれの授業に目的と次回の授業までの達成（体験）目標を与え、学びを実践でいかし質の良いコミュニケーション体得を目指します。</p> <p>手話を通じて、自己紹介、あいさつ、基礎的な患者対応ができるように目指します。</p>		
	使用教材	出版社
学生・教員	テキストは作成します	
<p>【使用教室】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他（ ）</p>		
<p>【評価方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）</p>		
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 同専門学校他学科での指導経験等実務経験有</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
コミュニケーション論		15 時間	赤澤徳俊 小田嶋夕美（手話）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	自己紹介 (承認と尊重)	自己紹介(アイスブレイク)を通して、信頼関係の構築や互いに認め合うことを学ぶ。	
2 限	コミュニケーション基礎 (概念)	エトス・パドス・ロゴスのコミュニケーションの概念とそれぞれの特徴を学ぶ。	
3 限	コミュニケーション基礎 (基礎)	社会から求められるコミュニケーションとその必要性を学ぶ。	
4 限	コミュニケーション基礎 (医療)	医療現場に求められるコミュニケーションを学ぶ。	
5 限	コーチング(傾聴)	コーチングの技法として傾聴を学ぶ。	
6 限	コーチング(承認・質問)	コーチング技法として承認・質問を学ぶ。	
7 限	患者とのコミュニケーション	口腔ケアで役に立つコミュニケーションアプローチを学ぶ。	
8 限	交流分析(ストローク)	心理学の交流分析からストローク(存在認知)を学ぶ。	
9 限	クレーム対応 報・連・相	社会で特に求められるコミュニケーションを学ぶ。	
10 限	医療面接	ロールプレイングを通して学びの振り返りを行う。	
11 限	手話 あいさつ	演習 あいさつ お天気 ありがとう がんばって	
12 限	自己紹介	あいうえお 自分の名前 よろしくお願ひします	
13 限	歌	演習 手話の歌	
14 限	歯科診療	今日はどうしましたか 調子の悪いところはどこですか	
15 限	歯科診療	演習 お大事になさってください	
		(授業時間：1時間)	
試験			

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 生化学	教員名 小番由紀子
科目時間数 : 20 時間	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 口腔における生命現象を分子レベルの化学反応から理解するために、口腔における物質の代謝と機能に関する基本的知識を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 生体構成成分や栄養素を化学物質としてとらえ、生命現象を分子レベルで理解すると共に、口腔組織や唾液、齶蝕についての生化学的基礎知識を理解する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生体の反応に必要な水の働きを説明できる。 ②生体構成成分と栄養素の種類および作用を説明できる。 ③栄養素の消化と吸収を説明できる。 ④エネルギー代謝を説明できる。 ⑤主要な酵素の種類と作用を説明できる。 ⑥生体の恒常性を、血液の緩衝能と血糖値の調節で概説できる。 ⑦恒常性を保つ仕組みとして、ホルモン系と自律神経系があることを理解できる。 	
学生・教員	使用教材 最新歯科衛生士教本「人体の構造と機能2 栄養と代謝」
	出版社 医歯薬出版社
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 同専門学校他学科での指導経験等実務経験有</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
生化学		20	小番由紀子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	生化学概論 生体の構成要素①	生化学で学ぶ目的や意義を述べる。 細胞の構造や細胞小器官の働きを説明できる。	
2 限	生体の構成要素② 生体における化学反応	生体構成成分と栄養素について述べる。 消化管で起こる栄養素の消化・吸収について説明する。	
3 限	糖質と脂質の代謝	糖質の代謝とエネルギーの生成について説明する。脂質の代謝とエネルギーの生成について説明する。	
4 限	タンパク質の代謝	アミノ酸の代謝分解過程を説明できる。タンパク質が合成される過程を説明できる。	
5 限	生体における恒常性の維持	血液のpHと血糖値の調節を例に、恒常性について説明できる。恒常性を保つ仕組みに、ホルモン系と自律神経系があることを説明できる。	
6 限	歯と歯周組織	歯と歯周組織、結合組織を構成する細胞を述べる。歯の無機成分と有機成分を説明できる。	
7 限	硬組織の生化学	石灰化の仕組み、歯と骨の石灰化の特徴を説明できる。歯の脱灰と再石灰化を説明する。	
8 限	唾液の生化学	唾液中の無機質や有機質の種類を列挙する。唾液中の無機質、有機質の作用を説明する。	
9 限	プラークの生化学①	プラークの種類、作用について説明できる。う蝕におけるプラークのかかわりを説明できる。	
10 限	プラークの生化学②	歯周疾患におけるプラークのかかわりを説明できる。歯周疾患と生体防御反応のかかわりを説明できる。	
		試験	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 口腔衛生学Ⅱ	教員名 村井雄司 大友さつき 浪岡多津子 高橋由紀子	
科目時間数 ： 20 時間	授業の種類 ： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 ： 必修	配当学年 ： 2年生 開講時期 ： 前期 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 地域における口腔保健活動の基礎知識を学び、地域歯科保健活動の意義を理解する。歯科疾患の観察対象となる事象を数量化するための、各指標の意義を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 歯科疾患の予防について、地域歯科保健の理論と実際を習得する。さらに、集団を対象にした保健活動のなかでの歯科衛生士のあり方を考える。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ヘルスプロモーションやノーマライゼーションの考え方を理解できる。 ②健康日本21と健康増進法について理解できる。 ③わが国の母子保健の概要を説明できる。 ④母子健康手帳に記載された口腔に関係した質問項目を列挙できる。 ⑤学校保健の対象者を列挙し、意義を説明できる。 ⑥生活習慣病のリスクファクターを列挙できる。 ⑦産業保健の目的を理解できる。 ⑧歯科疾患の指標を列挙できる。 		
	使用教材	出版社
学生・教員	最新歯科衛生士教本「保健生態学 第3版」「保健情報統計学」	医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 病院歯科において歯科衛生士の実務経験あり</p>		

科目名 口腔衛生学Ⅱ		科目時間総数 20 時間	教員名 村井雄司 大友さつき 浪岡多津子 高橋由紀子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	地域歯科保健の基礎知識	ヘルスプロモーションについて説明する。ライフステージ別の口腔保健の課題について例を挙げる。	
2 限	歯科疾患の指標①	う蝕に関する指標を具体的に述べる。 歯周病に関する指標を具体的に述べる。	
3 限	歯科疾患の指標②	口腔清掃状態に関する指標を具体的に述べる。不正咬合に関する指標を具体的に述べる。	
4 限	地域歯科保健	市町村と都道府県の歯科保健について説明する。健康日本21、健康増進法、8020運動について説明できる。	
5 限	母子歯科保健①	母子歯科保健の概要について説明できる。1歳6か月児健康診査の目的を説明できる。	
6 限	母子歯科保健②	3歳児健康診査の内容を説明できる。う蝕罹患型に応じた歯科保健指導の要点を列挙できる。	
7 限	学校歯科保健①	学校歯科保健教育の概要を説明できる。学校歯科健康診断の検査項目を列挙できる。	
8 限	学校歯科保健②	学校歯科健康診断の記号をあげ、基準を説明できる。歯・口腔の健康診断後の事後措置を述べる。	
9 限	成人・高齢者・要介護者・障害者の歯科保健	関連の法律等に基づく保健事業について説明する。要介護者・障害者の歯科保健について説明する。	
10 限	産業歯科保健 国際歯科保健	職業性歯科疾患、産業歯科保健活動について説明する。国際協力の実施機関、発展途上国への歯科保健医療協力について例を挙げる。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	歯科医療倫理	教員名	稲葉 大輔
科目時間数 :	15	時間	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	前期・(後期)・集中
<p>【授業の目的】 医療分野における倫理問題について、医療倫理学の視点から理解し対処できる基礎的な知識と実践力を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 現代の生命・医療分野における倫理の基本問題について概説し、受講者と一緒に考えていく。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①医療倫理とは何かについて理解できる。 ②患者中心の医療について説明できる。 ③医療従事者の職業倫理に関する規範について理解できる。 ④人を対象とする医学研究の倫理について理解できる。 ⑤バイオエシックスについて理解できる。 ⑥インフォームド・コンセントについて説明できる。 ⑦研究と医療倫理の関わりについて説明できる。 ⑧倫理的な配慮が必要な研究について説明できる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員	最新歯科衛生士教本「歯科医療倫理第2版」	医歯薬出版	
【使用教室】			
1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()			
【評価方法】			
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 病院歯科での臨床経験等実務経験有			

科目名		科目時間総数	教員名
歯科医療倫理		15時間	稲葉 大輔
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	医療倫理とは	伝統的な医の倫理の特徴を述べる。医療倫理が求められるようになった理由を列挙できる。 医療倫理とは何か、患者中心の医療とは何かについて述べる。	
2 限	医療倫理に関する規範とバイオシックス	医療従事者の職業倫理に関する規範について概説できる。患者の権利、人を対象とする医学研究の倫理について説明できる。 バイオエシックスとは何かについて説明できる。医療技術の発達をもたらした倫理的問題について述べる。	
3 限	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセントについて説明できる。 インフォームド・コンセントの倫理的意義について述べる。	
4 限	研究と医療倫理	研究と医療倫理の関わりについて、倫理的配慮の要件について説明できる。 研究への協力依頼の方法について述べる。	
5 限	歯科医療倫理を考慮うえで必要な行動	生活行動と保健行動について説明できる。 QOLとは何か述べることができる。 保健行動はどのようにして実行されるのか説明できる。	
6 限	歯科医療従事者に必要とされること	患者の個人情報取り扱いについて具体的に述べる。著作権法について説明する。臨床での問題、臨床実習での身だしなみの意義について具体的に述べる。	
7 限	医療倫理に関連する規範と法令①	医師・歯科医師・歯科衛生士の職業倫理に関する宣言等について列挙できる。患者の権利に関する宣言等について列挙できる。	
8 限	医療倫理に関連する規範と法令②	人を対象とする医学研究の倫理について列挙できる。 (授業時間：1時間)	
	試験		

科目名		科目時間総数	教員名
歯科補綴学		20	山田 優貴
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴 歯科補綴の概要	咀嚼障害、咬合異常について説明する。 補綴歯科治療の意義と目的、特徴を説明する。	
2 限	補綴歯科治療の基礎知識	歯・歯列の形態と位置的關係を説明できる。顎口腔系の機能、咬合について説明できる。	
3 限	歯の欠損に伴う障害と補綴歯科治療	歯の欠損に伴う歯列や咬合、口腔の変化について説明できる。補綴装置の装着が口腔組織に及ぼす影響を説明する。顎関節の構造と機能、顎関節疾患を説明する。	
4 限	補綴装置の種類とその構造、治療の実際①	クラウンの目的、分類、特徴を説明できる。クラウン治療の臨床ステップおよび技工操作を概説できる。	
5 限	補綴装置の種類とその構造、治療の実際②	ブリッジの構造と種類、ポンテックの分類について説明できる。ブリッジ治療の臨床ステップおよび技工操作を概説できる。	
6 限	補綴装置の種類とその構造、治療の実際③	有床義歯の種類、検査項目について説明できる。全部床義歯治療の臨床ステップおよび技工操作を概説できる。	
7 限	補綴装置の種類とその構造、治療の実際④	局部床義歯治療の臨床ステップおよび技工操作を概説できる。義歯の調整、ライニング、リベースおよび修理を概説できる。	
8 限	補綴装置の種類とその構造、治療の実際⑤	インプラント治療の基本構造と概念を説明する。インプラント治療の流れを説明する。	
9 限	補綴歯科治療に用いられる器材	歯の切削や補綴装置の修正に用いる器材を説明する。印象採得に用いる器材、咬合採得の器具を説明する。	
10 限	補綴歯科治療における歯科技工	クラウン・ブリッジ補綴の診療の流れと歯科技工の流れを理解する。有床義歯の診療の流れを歯科技工の流れを説明する。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 口腔外科・歯科麻酔	教員名 横田光正 佐藤潤
科目時間数 : 30 時間	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 2年
開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 口腔外科：口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と診断及び治療法の概念を理解する。 歯科麻酔：歯科治療における全身管理・精神鎮静法・局所麻酔及び全身麻酔の基本を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と診断及び治療法の概念を理解するとともに、歯科治療における全身管理・精神鎮静法・局所麻酔及び全身麻酔の基本の講義</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①口腔・顎顔面領域に生じる各種疾患を大きく分類できる。 ②先天異常（口唇・口蓋裂など）と発育異常（顎変形症など）の病態と治療法の原則を説明できる。 ③歯の外傷、歯槽骨骨折及び顎骨骨折の診断と治療法の原則を説明できる。 ④各種口腔粘膜疾患の特徴と治療法の原則を説明できる。 ⑤歯槽部、顎骨及び周囲組織の炎症の感染経路を診断及び治療の原則を説明できる。 ⑥顎骨及び口腔軟組織に発生する嚢胞の特徴と治療法の原則を説明できる。 ⑦口腔・顔面領域の良性腫瘍、悪性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類と特徴及び治療法の原則を説明できる。 ⑧顎関節疾患（脱臼、顎関節症、顎関節強直症など）の診断と治療法の原則を説明できる。 ⑨唾液腺疾患（炎症、唾石症、唾液腺腫瘍）の特徴と治療法の原則を説明できる。 ⑩口腔・顔面領域の神経疾患（三叉神経痛、減免神経麻痺など）の特徴を説明できる。 ⑪口腔に症状を現す血液疾患（貧血、白血病、血友病、特発性血小板減少性紫斑病など）の特徴を説明できる。 ⑫抜歯・口腔外科小手術（局所麻酔を含む）の手順と必要な器材を説明できる。 ⑬抜歯の適応と禁忌を概説できる。 ⑭抜歯・口腔外科小手術（局所麻酔を含む）後の注意を説明できる。 	
	使用教材
出版社	
学生・教員	最新歯科衛生士教本「口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版
【使用教室】	
1. HR	2. 介護実習室
3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室
7. その他（	）
【評価方法】	
1. 筆記試験	2. レポート
3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他（
）	
【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点） D（59点以下）の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無	
【内容】 病院歯科での臨床経験等実務経験有	

科目名		科目時間総数	教員名
口腔外科・歯科麻酔		30	横田光正 佐藤潤
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	口腔外科の概要	顎・口腔領域の疾患を挙げ、特徴、診断法、治療法を説明できる。口腔病変と全身疾患の関係を概説できる。歯科診療で問題となる基礎疾患と歯科治療時の注意点を説明できる。	
2 限	顎・口腔領域の先天異常と発育異常	歯の異常の種類について説明できる。口腔軟組織の先天異常と発育異常について説明できる。口唇・口蓋裂、顎の発育異常の症状と治療法を説明できる。	
3 限	顎・口腔領域の損傷および機能障害	軟組織損傷を分類し、原因と症状を説明できる。歯の損傷を分類し、原因や症状および治療法を説明できる。顎骨骨折を分類し、症状、治療法を説明できる。顎関節疾患を分類し、概説できる。	
4 限	口腔粘膜の病変	各種口腔粘膜疾患の種類と症状および軟組織損傷の症状と治療法を概説できる。(水泡、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着、萎縮、口腔乾燥、出血、貧血等)	
5 限	顎・口腔領域の化膿性炎症疾患	炎症性疾患の臨床症状を説明できる。炎症の原因、感染経路を説明できる。	
6 限	顎・口腔領域の嚢胞性疾患	歯源性嚢胞と非歯源性嚢胞の分類を説明できる。顎・口腔領域に発生する嚢胞の好発部位、症状、治療法を説明できる。	
7 限	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患	顎・口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍の種類と特徴について説明できる。腫瘍類似疾患について説明できる。	
8 限	唾液性疾患 神経疾患	唾液性疾患の症状と治療法について説明できる。 顎・口腔領域の神経疾患の症状を説明できる。	
9 限	口腔外科診療の実際	診察および検査の目的を理解し、基本、順序、記録法を説明できる。清潔と不潔を理解し、院内感染防止対策を説明できる。創傷の治癒過程を理解し、必要な器材と薬剤の準備、処置法を説明できる。消炎手術に必要な器材と薬剤、手順を説明できる。	
10 限	口腔外科診療の実際	抜歯の適応と禁忌を概説できる。抜歯に必要な器材の準備と手順を説明できる。抜歯・口腔外科小手術の局所的偶発症および術後の注意を説明できる。	
11 限	口腔外科診療の実際	口腔外科小手術(嚢胞摘出術、歯根端切除術、良性腫瘍摘出術、歯槽骨整形術・小帯切除術・口腔インプラント手術)に必要な器材の準備と手順を説明できる。	
12 限	口腔外科診療の実際	止血法に必要な器材と薬剤の準備、および止血処置法を理解できる。縫合法および抜糸法を説明できる。	
13 限	歯科治療と歯科麻酔	歯科治療における歯科麻酔の役割を説明できる。バイタルサインについて説明できる。局所麻酔法、局所麻酔薬について説明できる、局所麻酔に使用する器材について説明できる。	
14 限	歯科治療と歯科麻酔	精神鎮静法を分類して説明できる。精神鎮静法実施に際しての一般的な注意点を説明できる。全身麻酔の概要を説明できる。全身麻酔法、全身麻酔に使用する薬物について説明できる。歯科治療時の全身的偶発症の概要を説明できる。	
15 限	歯科治療と歯科麻酔	一次救命処置・二次救命処置の手順と用いる器材の準備ができる。 演習：バイタルサインの測定、AEDの取り扱いができる。	
	試験		

科目名		科目時間総数	教員名
小児歯科		20 時間	佐々木 保
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	小児歯科の基礎知識①	小児歯科学の概説	小児の心身の発育
2 限	小児歯科の基礎知識②	小児の生理的特徴	顔面頭蓋の発育
3 限	歯の発育とその異常①	乳歯・永久歯の特徴	
4 限	歯の発育とその異常②	歯の形成・発育・萌出とその異常	
5 限	歯列・咬合の発育とその異常①	歯列・咬合の発育と異常①	
6 限	歯列・咬合の発育とその異常②	歯列・咬合の発育と異常②	
7 限	小児の歯科疾患①	小児のう蝕・歯周疾患	
8 限	小児の歯科疾患②		
9 限	小児歯科診療①	小児の口腔外科的疾患など	小児期の特徴と歯科的問題点 小児歯科における患者との対応法
10 限	小児歯科診療②	年齢別にみた小児の行動と対応法	
11 限	小児歯科における診療体系①	小児歯科診療とその特徴	母親教室 小児歯科における麻酔法 小児の歯冠修復
12 限	小児歯科における診療体系②	小児の歯内療法	外科的処置 咬合誘導 フッ化ジアミン銀塗布 リコール
13 限	障害児の歯科治療	障害児の特徴	障害児への対応
14 限	小児歯科診療における歯科衛生士の役割	小児歯科診療における歯科衛生士の役割	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	歯科矯正学	教員名	中野 廣一
科目時間数 :	20	時間	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	(前期)・後期・集中
<p>【授業の目的】 不正咬合の症状、治療意義と診断及び治療法の概念を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 歯科矯正に関する基本的な知識を理解し、矯正歯科治療の臨床における歯科衛生士が果たす役割を学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①顔面及び歯・歯列の成長発育とその評価を説明できる。 ②成長発育に伴う正常咬合（乳歯列から永久歯列）を説明できる。 ③不正咬合の原因と種類を列挙できる。 ④不正咬合による障害と矯正治療の目的を説明できる。 ⑤矯正力と歯の移動時の生体反応を説明できる。 ⑥矯正装置の種類、構造及び機能を説明できる。 ⑦矯正治療に用いる器材とその取扱いを説明できる。 ⑧矯正治療前、治療中及び保定機関における口腔健康管理法を説明できる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員	歯科衛生士教本「歯科矯正」	医歯薬出版	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無</p>			
<p>【内容】 大学病院、歯科診療所での臨床経験等実務経験有</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
歯科矯正学		20 時間	中野 廣一
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	歯科矯正学概論 成長発育	矯正歯科治療の目的を説明できる。矯正歯科治療の必要性を説明できる。 成長発育の定義を説明できる。顔面および歯・歯列の成長発育とその評価を説明できる。	
2 限	正常咬合と不正咬合	成長発育に伴う正常咬合を説明できる。 不正咬合の原因と種類を説明できる。	
3 限	矯正歯科診断	矯正歯科診断に必要な検査項目を列挙し、その意義を説明できる。模型分析、頭部エックス線規格写真分析の方法と意義を説明できる。	
4 限	矯正歯科治療と「力」	矯正力と移動する歯、固定の関係を説明できる。歯が移動する際の歯周組織反応を説明できる。器械的矯正力と機能的強制力を説明し、それぞれを利用する装置をあげることができる。保定の定義と主な装置を説明できる。	
5 限	矯正装置	矯正装置の分類法、種類と構成について説明できる。矯正装置の使用目的と適用時期を説明できる。矯正装置装着時の指導ができる。	
6 限	上下顎の前後的・垂直的關係の不調和 成人矯正	Ⅰ級、Ⅱ級、Ⅲ級不正咬合を説明できる。過蓋咬合、開咬を説明できる。 成人患者の矯正歯科治療の注意点を説明できる。	
7 限	口腔顎顔面の形成異常と変形 歯の埋伏と歯数の異常	口唇・口蓋裂による咬合異常、治療を説明できる。顎変形症の治療について説明できる。 埋伏歯、先天欠如歯、過剰歯の治療について説明できる。	
8 限	矯正歯科診断に関わる業務 矯正歯科診療時の業務①	矯正歯科診断に必要な資料について説明できる。 矯正歯科治療に用いる器具・材料の用途について説明できる。	
9 限	矯正歯科診療時の業務② 矯正歯科患者と口腔保健管理	各種矯正装置装着における注意点を説明できる。 矯正治療前、治療中および保定期間における口腔健康管理法を説明できる。	
10 限	矯正歯科治療時のトラブルへの対応 口腔筋機能療法	矯正歯科治療におけるリスクを説明できる。トラブルへの対応について説明できる。 口腔筋機能療法の訓練、効果について説明できる。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	歯科放射線学	教員名	鈴木 美智恵
科目時間数 :	20	時間	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	(前期)・後期・集中
<p>【授業の目的】 歯科疾患の診断及び歯科衛生士の業務業務範囲にて行える画像検査の意義と関連を理解する。また、エックス線写真撮影時の補助のために必要な撮影手順、放射線防護の方法を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 放射線に関する基礎的知識を理解し、歯科医療における適切な利用法と歯科衛生士が果たす役割を学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①放射線の生物学的影響を理解し、放射線防御を概説できる。 ②エックス線画像の形成原理を説明できる。 ③頭部エックス線撮影の種類と適応を概説できる。 ④口内法並びにパノラマエックス線撮影の手技を説明できる。 ⑤口内法エックス線写真とパノラマエックス線写真のエックス線解剖の概要を表記できる。 ⑥う蝕と歯周病及び顎骨に生じる病変（嚢胞、腫瘍、炎症等）のエックス線所見を概説できる。 ⑦超音波検査、CT（CBCT）及びMRIの原理と特徴を概説できる。 ⑧嚙下造影検査、嚙下内視鏡検査の所見を概説できる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員	歯科衛生士教本「歯科放射線」	医歯薬出版	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無</p>			
<p>【内容】 病院、歯科診療所での臨床実習等実務経験有</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
歯科放射線学		20 時間	鈴木 美智恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	歯科医療と放射線	歯科診療においてエックス線検査が果たす役割を概説する。エックス線の性質と生体へ影響を概説する。歯科診療における放射線防護を概説する。	
2 限	エックス線画像の形成	エックス線管とエックス線の発生を概説する。エックス線と生体物質との相互作用を概説する。エックス線フィルムによる撮影とデジタルエックス線撮影について説明できる。	
3 限	歯科におけるエックス線検査①	口内法エックス線撮影に用いる装置の構造を述べる。口内法エックス線フィルム、センサーを説明する。口内法エックス線撮影法の種類を列挙し、特徴を述べる。	
4 限	歯科におけるエックス線検査②	パノラマエックス線撮影を概説する。歯科・口腔外科領域で用いる画像検査法を説明する。	
5 限	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生の役割①	口内法エックス線撮影の準備手順と留意点を述べる。口内法エックス線撮影のフィルムの位置づけ方法を説明する。	
6 限	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生の役割②	配慮が必要な患者のエックス線撮影について説明できる。口内法エックス線撮影の感染予防について説明できる。口内法エックス線写真の画像観察の手順を述べる。	
7 限	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生の役割③	口内法エックス線写真の正常解剖、病的像について説明できる。口内法エックス線撮影および写真処理時の失敗原因を説明できる。	
8 限	パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割	パノラマエックス線撮影の準備手順と患者の位置づけについて説明できる。パノラマエックス線写真の正常解剖、病的像について説明できる。	
9 限	写真処理と画像保管の実際	写真処理の方法と手順を説明する。デジタルシステムにおける画像処理と画像管理の方法を説明する。エックス線写真の整理・観察・保管方法を説明する。	
10 限	放射線治療と口腔管理	口腔癌の放射線治療について説明する。放射線治療患者の口腔管理について説明する。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 う蝕予防処置Ⅱ	教員名 大友さつき 高橋由紀子				
科目時間数 : 15 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習				
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中				
<p>【授業の目的・ねらい】 う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識、技術および態度を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 う蝕予防処置法（フッ化物歯面塗布法、集団応用）の目的、方法、所要条件、実施上の注意事項等の知識および実践を学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① う蝕予防処置集団応用の考え方について理解できる。 ② フッ化物歯面塗布（歯ブラシ法、イオン導入法）の術式を説明できる。 ③ フッ化物配合歯磨剤の使用法を説明できる。 ④ 配合フッ化物の種類と特徴を説明できる。 ⑤ う蝕予防処置におけるメンテナンスの目的を説明できる。 ⑥ う蝕のリスクとメンテナンスの必要性を理解できる。 					
使用教材					
学生・教員	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」</td> <td style="width: 50%; border: none;">出版社</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">「歯科衛生士のための齲蝕予防処理法 第2版」</td> <td style="border: none;">医歯薬出版</td> </tr> </table>	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」	出版社	「歯科衛生士のための齲蝕予防処理法 第2版」	医歯薬出版
最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」	出版社				
「歯科衛生士のための齲蝕予防処理法 第2版」	医歯薬出版				
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>					
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>					
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>					
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>					
<p>【内容】 病院歯科において歯科衛生士の実務経験あり</p>					

科目名		科目時間総数	教員名
う蝕予防処置Ⅱ		15	大友さつき 高橋由紀子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	う蝕予防処置集団応用の考え方①	う蝕予防処置の集団応用の特徴、場面について説明できる。集団応用に用いられるう蝕予防処置法について説明できる。	
2 限	う蝕予防処置集団応用の考え方②	集団応用実施の器材・薬剤の準備について説明できる。フッ化物洗口法について説明できる。	
3 限	う蝕予防処置集団応用の考え方③	実技 相互実習：フッ化物ゲル歯ブラシ塗布法を実施する。	
4 限	フッ化物フォーム応用① イオン導入法①	演習：フッ化物フォーム応用時の使用量を調べる。 イオン導入法に使用する器材・薬剤、術式を説明できる。	
5 限	フッ化物フォーム応用②	実技 相互実習：フッ化物フォーム塗布を実施する。	
6 限	イオン導入法②	実技 相互実習：イオン導入法を実施する。	
7 限	フッ化物配合歯磨剤	配合されているフッ化物、対象と特徴、効果的な使い方を述べる。 演習：フッ化物配合歯磨剤を使用する。	
8 限	フッ化物塗布の臨床応用	高齢者、矯正治療患者、知覚過敏患者、インプラント装着患者へのフッ化物応用について説明できる。（授業時間：1時間）	
	試験		

科目名		科目時間総数		教員名	
歯周病予防処置Ⅱ		60		大友さつき 高橋由紀子 小田郁子	
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1 限	総論	講義	歯周病予防処置及び治療における歯科衛生士の役割を説明できる。歯科治療における歯科衛生士の法的根拠を説明できる。		
2 限	キュレットスケーラーの基本操作	講義	キュレットの種類 形態的特徴を説明できる。スケーリング、ルートプレーニング、デブライドメントの違いを説明できる。		
3 限	キュレットスケーラーの基本操作	実技	マネキン実習：キュレットを使用してスケーリング、ルートプレーニング、デブライドメントの操作ができる。		
4 限	歯周組織検査	実技	マネキン実習：各歯周組織検査を実施できる。各歯周組織検査の結果を様式にそって記録できる。		
5 限	歯周組織検査	実技	相互実習：歯周組織検査の準備ができる。各歯周組織検査を実施できる。		
6 限	歯周組織検査	実技	相互実習：各歯周組織検査を様式にそって記録できる。		
6 限	歯周組織検査	講義	歯周組織検査結果からわかる情報を説明できる。		
7 限	歯石の探知・キュレットスケーラー操作	実技	マネキン実習：下顎前歯部を施術できる。キュレットスケーラーで上顎前歯部を施術できる。		
8 限	歯石の探知・キュレットスケーラー操作	実技	相互実習：キュレットスケーラーで下顎前歯部を施術できる。		
9 限	歯石の探知・キュレットスケーラー操作	実技	相互実習：キュレットスケーラーで上顎前歯部を施術できる。		
10 限	歯石の探知・キュレットスケーラー操作	実技	マネキン実習：キュレットスケーラーで下顎左右側臼歯部を施術できる。		
11 限	歯石の探知・キュレットスケーラー操作	実技	相互実習：キュレットスケーラーで下顎左側臼歯部を施術できる。		
12 限	歯石の探知・キュレットスケーラー操作	実技	相互実習：キュレットスケーラーで下顎右側臼歯部を施術できる。		
13 限	歯石の探知・キュレットスケーラー操作	実技	マネキン実習：キュレットスケーラーで上顎左右側臼歯部を施術できる。		
14 限	歯石の探知・キュレットスケーラー操作	実技	相互実習：キュレットスケーラーで上顎左側臼歯部を施術できる。		
15 限	歯石の探知・キュレットスケーラー操作	実技	相互実習：キュレットスケーラーで上顎右側臼歯部を施術できる。		
16 限	超音波スケーラー・エアスケーラー	講義	超音波スケーラー・エアスケーラーの機能的特徴を説明できる。		
16 限	超音波スケーラー・エアスケーラー	実技	マネキン実習：超音波スケーラー・エアスケーラーの施術ができる。		
17 限	超音波スケーラー・エアスケーラー	実技	マネキン実習：超音波スケーラー・エアスケーラーの施術ができる。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
18 限	超音波スケーラー・エアスケーラー	実技	相互実習：超音波スケーラー・エアスケーラーの施術ができる。
19 限	超音波スケーラー・エアスケーラー	実技	相互実習：超音波スケーラー・エアスケーラーの施術ができる。
20 限	歯面研磨・歯面清掃	講義 実技	歯面研磨・歯面清掃で注意を要する症例 術後の洗浄について説明できる。 マネキン実習：電気エンジンを使用した歯面研磨を施術できる。
21 限	歯面研磨・歯面清掃	実技	臨床歯科実習室 マネキン実習：歯面研磨 術後の洗浄を施術できる。
22 限	歯面研磨・歯面清掃	講義 実技	歯面清掃器の特徴 安全上の注意事項を説明できる。 マネキン実習：歯面清掃器を操作することができる。
23 限	歯面研磨・歯面清掃	実技	相互実習：エンジンを使用する歯面研磨、術後の洗浄が施術できる。
24 限	歯面研磨・歯面清掃	実技	相互実習：エンジンを使用する歯面研磨、術後の洗浄が施術できる。
25 限	歯周組織検査	実技	相互実習：歯周ポケット測定の施術と記録ができる。
26 限	歯周組織検査	実技	相互実習：歯周ポケット測定の施術と記録ができる。
27 限	触診とシックル・キュレットスケーラ操作	実技	人工歯石の取扱い、顎模型へ人工歯石の塗布 マネキン実習：上下顎前歯のキュレット操作ができる。
28 限	触診とシックル・キュレットスケーラ操作	実技	マネキン実習：上下顎臼歯部のキュレット操作ができる。
29 限	スケーラー、キュレットのシャープニング	演習	砥石でスケーラー、キュレットのシャープニングの施術、管理ができる。
30 限	キュレットスケーラーの操作	実技	マネキン実習：シャープニング前後のキュレット操作の違いを体感できる。全顎部位のキュレット操作が時間内に施術できる。
	試験		筆記試験
	試験		実技試験

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 歯科保健指導Ⅱ	教員名 大友さつき 浪岡多津子 高橋由紀子
科目時間数 : 60 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 個人を対象とした歯科保健指導ができるようになるための基礎知識・技術を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 講義や実習を通じて、個々の対象に合った実践的な歯科保健指導ができるようになるための基礎知識・技術を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 歯科衛生過程の基本的な考え方を説明できる。 ② 情報収集の目的や得られる情報を説明できる。 ③ 医療面接の目的を説明できる。 ④ 口腔内の観察項目とポイントをあげる。 ⑤ う蝕リスクが高い小児に対する歯科保健指導を理解できる。 ⑥ 歯周病患者に対する歯科保健指導を理解できる。 ⑦ 障害者に対する歯科保健指導を理解できる。 ⑧ 地域歯科保健における健康教育や保健指導の概要を説明できる。 ⑨ 地域歯科保健事業における歯科衛生士の役割を説明できる。 	
	使用教材
学生・教員	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
	出版社
医歯薬出版	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 歯科医療機関において歯科衛生士の実務経験あり</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
歯科保健指導Ⅱ		60	大友さつき 高橋由紀子 浪岡多津子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	時間	
		主な学習内容と到達目標	
1限	歯科衛生過程の進め方①	歯科衛生過程の基本的考え方を説明できる。歯科衛生過程の6つの要素を列挙できる。	
2限	歯科衛生過程の進め方②	歯科衛生アセスメントの情報収集、情報の整理・分類について説明できる。歯科衛生アセスメントの情報の解釈・分析について説明できる。	
3限	歯科衛生過程の進め方③	歯科衛生診断について説明できる。歯科衛生士ニーズごとに診断句の例を挙げることができる。	
4限	歯科衛生過程の進め方④	歯科衛生計画立案について説明できる。歯科衛生介入について説明できる。	
5限	歯科衛生過程の進め方⑤	歯科衛生評価について説明できる。歯科衛生過程における記録について説明できる。	
6限	患者からの情報収集①	情報収集の目的や得られる情報を説明できる。情報収集のポイントをあげる。	
7限	患者からの情報収集②	医療面接の目的を説明できる。情報収集、治療への動機づけについて説明できる。	
8限	患者からの情報収集③	実技 相互実習：情報収集、医療面接を実践する。	
9限	患者からの情報収集④	実技 相互実習：情報収集、医療面接を実践する。	
10限	口腔内の情報収集①	口腔内の観察項目をあげる。口腔内の観察ポイントをあげる。	
11限	口腔内の情報収集②	演習：画像を使い、口腔内観察・状況把握を行う。	
12限	臨床における歯科衛生活動①	演習：小児患者の臨床例をとおして、う蝕リスクが高い小児に対する歯科予防処置や歯科保健指導内容を考える。	
13限	臨床における歯科衛生活動②	演習：小児患者の臨床例をとおして、う蝕リスクが高い小児に対する歯科予防処置や歯科保健指導内容を考える。	
14限	臨床における歯科衛生活動③	演習：成人の臨床例をとおして、歯周病患者に対する歯科予防処置や歯科保健指導内容を考える。	
15限	臨床における歯科衛生活動④	演習：成人の臨床例をとおして、歯周病患者に対する歯科予防処置や歯科保健指導内容を考える。	
16限	臨床における歯科衛生活動⑥	演習：障害者の臨床例をとおして、歯科予防処置や歯科保健指導内容を考える。	
17限	臨床における歯科衛生活動⑦	演習：障害者の臨床例をとおして、歯科予防処置や歯科保健指導内容を考える。	
18限	地域歯科保健活動①	健康教育の概要を説明できる。健康教育の進め方について説明できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
19 限	地域歯科保健活動②	健康教育の方法を列挙し、一般的効果について説明できる。健康教育の教材を列挙できる。
20 限	学校歯科保健教育①	学校保健における歯科保健指導概要を説明できる。学校保健における指導案作成のポイントをあげる。
21 限	学校歯科保健教育②	教育媒体を列挙する。指導後の評価について説明できる。
22 限	学校歯科保健教育③	小学校における歯科保健指導例を説明できる。
23 限	学校歯科保健教育④	演習：学校歯科保健における指導案を作成する。
24 限	高齢者歯科保健教育①	高齢者保健における歯科保健指導概要を説明できる。「口腔機能の向上」プログラム例をとおして、事前アセスメントより情報把握する。
25 限	高齢者歯科保健教育②	「口腔機能の向上」プログラム例をとおして、課題・ニーズ・計画立案・実施を説明できる。
26 限	高齢者歯科保健教育③	演習：「口腔機能の向上」プログラムにおける歯科保健指導の指導案を作成する。
27 限	歯科保健教育演習①	演習：学校実習の指導案を作成する。
28 限	歯科保健教育演習②	演習：学校実習の媒体を作成する。
29 限	歯科保健教育演習③	演習：学校実習の媒体を作成する。
30 限	歯科保健教育演習④	演習：学校実習の媒体を作成する。
	試験	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 歯科診療補助Ⅱ	教員名 鈴木美智恵 大友さつき 高橋由紀子 小田郁子
科目時間数 : 90 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 専門的な歯科診療の補助のために必要な基礎的知識、技術および態度を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 歯科診療の各処置内容を理解し、前準備と術式に沿った使用器材の受け渡し、診療中の患者対応、処置後の患者指導および器材の後始末などの知識・技術を、講義や実習を通じて習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 口腔内写真の撮影ができる。 ② ラバーダム防湿ができる。 ③ 各処置の手順を理解し、使用する器材の準備と取扱いができる。 ④ 補綴装置装着後の患者指導ができる。 ⑤ 抜歯後の注意を説明できる。 ⑥ 特別な配慮が必要な患者対応について説明できる。 ⑦ エックス線撮影の準備ができる。 ⑧ 歯科訪問における診療補助の概要について説明できる。 ⑨ 歯科医療における感染予防対策について説明できる。 ⑩ 感染事故時の対応について説明できる。 	
	使用教材
学生・教員	「歯科診療補助論 第2版」 「歯科機器」「歯科材料」
	出版社
	医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点） D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 歯科医療機関において、歯科医師または歯科衛生士の実務経験あり</p>	

科目名 歯科診療補助Ⅱ		科目時間総数 90	時間	教員名 鈴木美智恵 大友さつき 高橋由紀子 小田郁子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 限	口腔内写真撮影①	実技 相互実習：口腔内写真撮影を行う。		
2 限	口腔内写真撮影②	実技 相互実習：口腔内写真撮影を行う。		
3 限	口腔内写真撮影③	演習：写真データ保存、画像処理を行う。		
4 限	ラバーダム防湿①	ラバーダム防湿の目的、器具の用途について説明できる。		
5 限	ラバーダム防湿②	実技 マネキン実習：ラバーダム防湿を実施する。		
6 限	ラバーダム防湿③	実技 相互実習：ラバーダム防湿を実施する。		
7 限	歯肉圧排 隔壁法 歯間分離法	歯肉圧排、隔壁法、歯間分離法に用いる器具と使用方法を説明できる。 実技 マネキン実習：歯肉圧排、隔壁法、歯間分離法を身につける。		
8 限	保存修復時の診療補助①	保存修復治療と診療補助の特徴、直接修復の流れを説明できる。コンポジットレジン修復に使用する器材を列挙できる。		
9 限	保存修復時の診療補助②	実技 マネキン実習：コンポジットレジン修復に使用する器材を準備する。		
10 限	保存修復時の診療補助③	ガラスアイオノマーセメント修復の流れを説明できる。 実技 マネキン実習：ガラスアイオノマーセメント修復に使用する器材を準備する。修復物の研磨を行う。		
11 限	保存修復時の診療補助④	間接修復の流れを説明できる。 演習：間接修復に使用する器材を準備する。実技 マネキン実習：仮封を行う。		
12 限	歯内療法時の診療補助①	歯内療法と診療補助の特徴を説明できる。麻酔抜髄・根管充填・歯髄保存療法に使用する器材を列挙できる。		
13 限	歯内療法時の診療補助②	演習：歯内療法で使用する器材、薬剤を準備する。		
14 限	歯周外科治療の診療補助①	歯周外科治療の特徴について説明できる。歯周外科治療に使用する器材を列挙できる。		
15 限	歯周外科治療の診療補助②	演習：歯周外科治療に使用する器材を準備する。歯周パットの取扱いを行う。		
16 限	手術用器具の取扱い	メス、縫合針・縫合糸の取扱いについて説明する。 演習：メス・縫合針・縫合糸・注射針の取扱いを身につける。		
17 限	口腔外科治療時の診療補助①	口腔外科治療の特徴、抜歯時の業務について説明できる。普通抜歯の術式と使用する器材を列挙できる。		
18 限	口腔外科治療時の診療補助②	難抜歯・小手術の術式と使用する器材を列挙できる。術後の患者説明ができる。止血処置について説明できる。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
19限	口腔外科治療時の診療補助③	演習：抜歯・小手術の使用器材の準備と取扱いを行う。
20限	口腔外科治療時の診療補助④	演習：滅菌ガウンの取扱い方法を身につける。演習：滅菌グローブの装着方法を身につける。
21限	補綴治療時の診療補助Ⅰ①	補綴治療の特徴を説明できる。クラウン・ブリッジの治療の例と診療補助、患者指導について説明できる。
22限	補綴治療時の診療補助Ⅰ②	演習：クラウン・ブリッジ治療における器材の準備を行う。印象材取扱いを行う。
23限	補綴治療時の診療補助Ⅰ③ 歯科技工用機器	演習：合着材取扱いを行う。 歯科技工作業にかかわる機器を説明できる。
24限	補綴治療時の診療補助Ⅱ①	有床義歯の治療の例と診療補助について説明できる。患者指導、有床義歯の修理・補修について説明できる。
25限	補綴治療時の診療補助Ⅱ②	演習：有床義歯治療に使用する器材の準備を行う。有床義歯の修理・補修に使用する材料の取扱いを身につける。
26限	補綴治療時の診療補助Ⅲ③	実技 マネキン実習：築造体作成時の診療補助（寒天・アルジネート連合印象）、作業用模型を作成する。
27限	補綴治療時の診療補助Ⅲ④	実技 マネキン実習：築造体作成時の診療補助（寒天・アルジネート連合印象）、作業用模型を作成する。
28限	補綴治療時の診療補助Ⅲ⑤	実技 マネキン実習：最終補綴物作成時の診療補助（シリコーン印象材による精密印象）、作業用模型を作成する。
29限	補綴治療時の診療補助Ⅲ⑥	実技 マネキン実習：最終補綴物作成時の診療補助（シリコーン印象材による精密印象）、作業用模型を作成する。
30限	矯正治療時の診療補助①	矯正治療の特徴、治療の例と診療補助について説明できる。矯正治療に使用する機器を列挙できる。
31限	矯正治療時の診療補助②	演習：矯正治療に使用する機器を準備する。歯科矯正にかかわる材料の取扱いを身につける。
32限	特別な配慮が必要な患者対応①	小児・高齢者・障害を有する患者の対応と車椅子の取扱いについて説明できる。 演習：車椅子の移乗と移動を行う。
33限	特別な配慮が必要な患者対応②	演習：車椅子の移乗と移動を行う。
34限	小児歯科治療時の診療補助①	小児の診療と診療補助の特徴を説明できる。小児の治療の例と診療補助の流れを説明できる。
35限	小児歯科治療時の診療補助②	演習：小児歯科治療に使用する器材の準備を行う。抑制具の取扱い、開口器の使用方法を身につける。
36限	エックス線写真撮影時の診療補助①	画像検査法とその補助について説明できる。 演習：口内法撮影頭部固定、フィルムの位置づけを行う。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
37 限	エックス線写真撮影時の診療補助②	演習：口内法撮影頭部固定、フィルムの位置づけを行う。パノラマエックス線撮影の診療補助を行う。
38 限	エックス線写真撮影時の診療補助③	歯科用コーンビームCT撮影、写真の処理と管理について説明できる。放射線の人体への影響と防護について説明できる。
39 限	歯科訪問診療における対応①	歯科訪問の診療補助の概要を説明できる。歯科訪問診療の流れを説明できる。
40 限	歯科訪問診療における対応②	歯科用訪問用機器を列挙できる。感染予防対策を説明できる。訪問先とのコミュニケーションについて説明できる。
41 限	口腔機能検査用機器	口腔機能検査用機器の用途と特徴を説明できる。
42 限	感染予防①	感染リスクに応じた滅菌・消毒・洗浄法を説明できる。感染予防対策において医療従事者としての対応について説明できる。
43 限	感染予防②	環境感染予防対策について説明できる。感染事故時の対応について説明できる。
44 限	歯科治療時に使用する器材	演習：治療内容に応じ、使用する器材を準備する。
45 限	歯科材料の取扱い	演習：各種セメント・印象材の練和法を身につける。
		試験

科目名 臨床・臨地実習Ⅱ	科目時間総数 360 時間	教員名 臨床・臨地実習指導者
時間数	主な学習内容と到達目標	
歯科診療所実習 1日8時間×40日＝320時間 1日7時間×4日＝28時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科診療所に勤務する職員の業務内容を具体的に説明できる。 ・ 患者および指導者に対し、笑顔で挨拶する。 ・ 指導者の指示により、歯科治療の使用器材を準備できる。 ・ 歯科治療の術式および使用器材の用途を説明できる。 ・ 状況に応じたライティングやバキューム操作ができる。 ・ 歯科医療機関の感染予防対策のルールを身につける。 ・ 実習内容を記録にまとめることができる。 	
高齢者施設実習 1日4時間×3日＝12時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の人権・人格を尊重した対応をする。 ・ 利用者および職員とコミュニケーションを図ることができる。 ・ 利用者に対し、歯科健康教育を実践できる。 ・ 利用者の口腔清掃の介助ができる。 ・ 車椅子の移動介助ができる。 ・ 実習内容を記録にまとめることができる。 	
計 47日間 360時間		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 高齢者歯科 摂食嚥下指導	教員名 佐々木勝忠 晴山婦美子	
科目時間数 : 30 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 生理的な加齢が身体や心理に及ぼす影響や、老化に伴って増える疾患や障害の特徴を理解し、患者の全身状態及び生活機能を間接的に支える歯科衛生士の役割を学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 高齢者の全身・口腔の特徴について理解し、高齢者の歯科疾患への口腔健康管理や歯科診療補助の能力や、口腔機能が低下している高齢者に対して摂食嚥下リハビリテーションを行う際に必要な知識を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①全身および口腔の加齢と老化を説明できる。 ②人口の超高齢化による社会環境の変化を説明できる。 ③高齢者の全身疾患と口腔疾患の特徴を説明できる。 ④高齢者の口腔健康管理を説明できる。 ⑤高齢者の摂食嚥下障害の原因と症状を説明できる。 ⑥高齢者のための社会保障と医療・保健・福祉を説明できる。 ⑦サルコペニアとフレイルを説明できる。 		
	使用教材	出版社
教員・学生	最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」 「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版」	医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 歯科医療機関において、歯科医師または歯科衛生士の実務経験有</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
高齢者歯科 摂食嚥下指導		30	時間 佐々木勝忠 晴山婦美子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	高齢者を取り巻く社会と環境	高齢社会とは何か、高齢者の人口比率の推移について説明できる。高齢者の口腔の特性について説明できる。高齢者にかかわる法律や介護保険制度の概要について説明できる。	
2 限	加齢による身体的・精神的変化と疾患	高齢者の身体機能の老化について説明できる。加齢に伴う各器官、各組織の老化について説明できる。（口腔・咽頭領域含む）	
3 限	加齢による身体的・精神的変化と疾患	高齢者に多い全身疾患・障害について説明できる。高齢者に特有な口腔疾患を説明できる。	
4 限	加齢による身体的・精神的変化と疾患	老化による心理的变化の背景を説明できる。高齢者とのコミュニケーションにおいて配慮すべき点について説明できる。	
5 限	高齢者の状態の把握	高齢者の日常生活動作を評価する方法、高齢者の認知機能を評価する方法を説明できる。	
6 限	高齢者の状態の把握	高齢者の低栄養について説明できる。高齢者が服用する薬剤の副作用を知り、その対応について説明できる。	
7 限	リスクマネジメント	合併症に対するリスクマネジメントについて、基本的な対処方法を説明できる。	
8 限	高齢者に関わる医療と介護	在宅医療制度の概要を説明できる。歯科衛生士が関与する介護保険の概要について説明できる。	
9 限	口腔のケア	口腔のケアに影響する高齢者の特徴について列挙する。高齢者の口腔のケア時の留意点について説明できる。	
10 限	口腔のケア	急性期における口腔衛生管理の必要性と一般的な留意点について説明できる。要介護高齢者への口腔のケアについての手技や注意点を説明できる。	
11 限	リハビリテーション総論	摂食嚥下障害とは何かを説明できる。	
12 限	摂食嚥下のメカニズム	摂食嚥下に関わる構造（解剖）について説明できる。	
13 限	摂食嚥下のメカニズム	摂食嚥下に関わる機能（生理）について説明できる。摂食嚥下機能の発達について説明できる。	
14 限	摂食嚥下障害	小児の摂食嚥下障害について説明できる。成人の摂食嚥下障害について説明できる。高齢者の摂食嚥下機能と障害の関連について説明できる。	
15 限	摂食嚥下リハビリテーションと口腔健康管理	実施のためのアセスメントを説明できる。実施のためのアセスメント、実施の際の注意点を説明できる。	
16 限	摂食嚥下における間接訓練・直接訓練	演習：間接訓練の方法を説明できる。間接訓練を実践する。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
14 限	摂食嚥下における間接 訓練・直接訓練	演習：直接訓練の方法を説明できる。直接訓練を実践する。
15 限	摂食嚥下障害に対する 食指導・食支援 摂食嚥下リハビリテー ションにおける連携	障害に応じた食物形態、栄養管理について説明できる。 多職種との連携について説明できる。在宅医療における摂食嚥下リハビリテーションの特徴を説明できる。
	試験	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 障害者歯科	教員名 村井雄司 松田 均 松田輝美 阿部真之	
科目時間数 : 15 時間	授業の種類 : <input checked="" type="radio"/> 講義 ・ <input type="radio"/> 演習 ・ <input type="radio"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ <input type="radio"/> 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <input checked="" type="radio"/> 前期 ・ <input checked="" type="radio"/> 後期 ・ <input type="radio"/> 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 歯科衛生業務を行うために必要な障害児者の身体的・心理的特徴と歯科治療および歯科衛生士の役割を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 障害児者の身体的・心理的特徴についての知識を教科書や実際の場面を紹介しながら講義していく。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①障害の概念が説明できる。 ②障害の種類・歯科的特徴および歯科保健医療の留意点を説明できる。 ③障害児者の歯科的治療を理解できる。 ④障害児者の保健・医療・福祉制度を説明できる。 ⑤障害児者の摂食嚥下障害とリハビリテーションを説明できる。 		
	使用教材	出版社
学生・教員	歯科衛生士教本 「障害者歯科」	医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. <input checked="" type="radio"/> HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. <input checked="" type="radio"/> 筆記試験 2. レポート 3. <input checked="" type="radio"/> 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 歯科医師、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士として臨床経験有</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
障害者歯科		15 時間	村井雄司 松田均 阿部真之 松田輝美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	障害の概念 障害の種類と歯科的特徴①	障害の種類・分類・受容について説明できる。 精神発達・心理的発達と行動障害について説明できる。	松田均
2 限	障害の種類と歯科的特徴②	運動障害（神経・筋系疾患）について説明できる。感覚障害 音声言語障害 精神および行動の障害について説明できる。	松田均
3 限	障害児者の行動調整 リスク評価	障害のある人とのコミュニケーション法、行動療法を説明できる。 障害児者歯科におけるリスク評価について説明できる。	阿部真之
4 限	障害児者の歯科医療	体動のコントロールについて説明できる。薬物学的行動調整法について説明できる。	村井雄司
5 限	健康支援と口腔衛生管理	障害者本人や介助者が行う口腔のケアを説明できる。専門的口腔ケア実施の際の障害別特徴（口腔と歯を含む）と口腔衛生管理を説明できる。	村井雄司
6 限	健康支援と口腔衛生管理 地域における障害者歯科	特別な配慮が必要な方の口腔衛生管理を説明できる。 各ライフステージにおける口腔保健活動を説明できる。	村井雄司
7 限	摂食嚥下リハビリテーション	摂食5期、摂食嚥下機能の発達を説明できる。障害児者の摂食嚥下障害とリハビリテーションを説明できる。	松田輝美
8 限	摂食嚥下リハビリテーション	小児期の摂食嚥下障害への対処法を説明できる。 (授業時間：1時間)	松田輝美
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	多職種連携演習	教員名	大友さつき 浪岡多津子
科目時間数 :	30 時間	授業の種類 :	(講義) ・ (演習) ・ 実習
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	2年生
		開講時期 :	(前期)・(後期)・集中
<p>【授業の目的】 「多職種と協働する力」「チームを動かす力」の基礎を実践とリフレクションを通じて体得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①多職種連携について理解を深める。 ②印象にとらわれず会話ができるようになる。 ③相手にわかりやすく伝えるためにはどのようにしたら良いか考え工夫する。 ④目指す資格・職種について理解を深める。 ⑤障害を抱える人たちにとって日常に起こり得る問題について考えることができる。 ⑥お互いの価値観を認め合い、歩み寄ることができる。 ⑦相手の行動が変化するような助言・支援ができる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員			
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
多職種連携演習		30 時間	大友さつき 浪岡多津子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション 多職種連携を学ぶこと アイスブレイク	演習：なぜ多職種連携を学ぶのかを考える 演習：自己紹介ゲーム 人間関係づくりトレーニング「このひとだあれ？」を実施する	
2 限	演習Ⅰ 他職種の理解	演習：情報共有① 学科紹介する作戦（計画・準備）を行う 演習：情報共有② 理解し合う（発表）	
3 限	演習Ⅰ 他職種の理解 演習Ⅱ 「生」を見つめる	障害の理解を行う① DVD「逃げ遅れる人々～東日本大震災と障害者～」	
4 限	「障害」とともに生きる 演習Ⅲ 「地域」とともに生きる	演習：障害の理解を行う② 演習：地域共生社会について学ぶ	
5 限	演習Ⅲ 「地域」とともに生きる 自分たちに何ができるか	演習：大沢川原地区の散策を行う 演習：避難訓練を実施する。	
6 限	自分たちに何ができるか	演習：避難所運営ゲーム「HUG」を実施する	
7 限	自分たちに何ができるか まとめ	演習：サバイバル飯づくり、振り返りを行う 演習：ポスター発表を行う（グループごと）	
8 限	全体を振り返る	演習：授業の全体を振り返る（リフレクションシート参考に感想文）	
9 限	オリエンテーション ゲストスピーカー アイスブレイク	演習：多職種連携を実践するイメージをつかむ 演習：健康づくりのサポート講話を実施する 演習：自己紹介・理想の健康食を実食しよう！	
10 限	演習Ⅳ	演習：適度な運動について考える「毎日プラス10分の運動」 演習：適切な食生活を考える「毎日プラス一皿の野菜」	
11 限	演習Ⅳ	演習：禁煙について考える「たばこの煙をなくす」	
12 限	演習Ⅴ 演習Ⅴ 施設訪問	演習：傾聴・調査・報告の仕方について考える 演習：訪問施設調べ学習を行う 演習：交流する	
13 限	施設訪問	演習：調査する 演習：まとめ作業を行う	
14 限	施設訪問	演習：まとめ作業を行う 演習：調査内容発表 感想をまとめる	
15 限	まとめ 全体を振り返る	演習：施設訪問発表を行う 演習：授業の全体を振り返る（リフレクションシート参考に感想文）	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 地域福祉実践	教員名 大友さつき 浪岡多津子
科目時間数 : 20 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年生 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的】 地域福祉とは、それぞれの地域において人々が安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方である。このことを理解し、医療・福祉に関する内容を含めた自主的なボランティア活動について、計画、実行、確認、振り返りを通じて、活動する自分自身も豊かな心を得ることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 今まで経験したボランティアについて全体で共有し、今後の活動について考える。学生全体及び学生各自のボランティア活動について、実現可能な内容の検索、立案、実施、振り返りを行う。最後に1年次及び2年次の活動を振り返り、今後も継続できる活動や新たに実施できる活動を考える。</p> <p>【授業における達成課題】 ①医療・福祉分野における多様なボランティア活動の例を説明できる。 ②活動についての計画を立てることができる。 ③活動先との連絡調整を自ら行うことができる。 ④ボランティア活動を通じて対象者、参加者等と適切なコミュニケーションを取ることができる。 ⑤各自が実施した地域福祉実践について整理して説明できる。</p>	
	使用教材
学生・教員	関係プリント
<p>【使用教室】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 <input checked="" type="checkbox"/> 4. その他 (ボランティア活動の場)</p>	
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 歯科衛生士としての歯科臨床における実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
地域福祉実践		20 時間	大友さつき 浪岡多津子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	地域福祉活動の振り返り	演習：1年次の地域福祉活動状況を述べることができる。1年生に対し地域福祉活動状況を説明することができる。	
2 限	医療・福祉分野の活動とは	演習：医療・福祉分野におけるボランティア活動についてグループワークを通し説明できる。実施に向けて医療・福祉分野におけるボランティア活動の計画を述べることができる。	
3 限	医療・福祉分野の活動とは ボランティア活動の準備	演習：活動する上での注意点を説明できる。 演習：クラス全体のボランティア活動についてグループワークを通し具体的に述べることができる。	
4 限	ボランティア活動の準備	演習：各自のボランティア活動の計画（時期・場所・内容）を列挙することができる。各自のボランティア活動の活動先との連絡方法を具体的に説明できる。	
5 限	ボランティア活動の実践	演習：各自のボランティア活動を計画、実施、振り返りを行うことができる。	
6 限	ボランティア活動の実践	演習：各自のボランティア活動を計画、実施、振り返りを行うことができる。	
7 限	ボランティア活動の実践	演習：各自のボランティア活動を計画、実施、振り返りを行うことができる。	
8 限	ボランティア活動の実践	演習：クラス全体でのボランティア活動に参加することができる。	
9 限	ボランティア活動の実践	演習：クラス全体でのボランティア活動に参加することができる。	
10 限	地域福祉実践のまとめ	演習：各自のボランティア活動について計画、実施、振り返りを行うことができる。 今後、継続できる活動及び新たに実施できる活動を述べることができる。	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	歯科薬理学	教員名	高田 智美
科目時間数 :	15 時間	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	担当学年 :	3年生
		開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的】 歯科医療に用いられる薬物の基礎的知識を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 歯科医療に用いられる薬物の取り扱いや服薬指導を行うことができるよう、薬物の性質、作用、作用機序、副作用等を理解する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①局所麻酔薬の適用法を理解する。 ②局所麻酔薬の副作用を説明できる。 ③フッ化物のう蝕抑制機序を説明できる。 ④歯髄の保存療法に用いる薬剤について説明できる。 ⑤感染根管治療に用いる薬物について説明できる。 ⑥歯周治療において投与される薬物について説明できる。 ⑦口腔粘膜疾患に用いる薬物を説明できる。 ⑧漢方薬について概説できる。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員	最新歯科衛生士教本「疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学 第2版」	医歯薬出版	
【使用教室】			
<ol style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">1. HR <li style="width: 33%;">2. 基礎実習室 <li style="width: 33%;">3. 歯科臨床実習室 <li style="width: 33%;">4. その他 () 			
【評価方法】			
<ol style="list-style-type: none"> <li style="width: 25%;">1. 筆記試験 <li style="width: 25%;">2. レポート <li style="width: 25%;">3. 出席 <li style="width: 25%;">4. 授業態度 <li style="width: 25%;">5. 実技試験 <li style="width: 25%;">6. その他 () 			
【備考】			
<p style="text-align: center;">※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する。</p>			
【担当教員の実務経験の有無】			
(有) ・ 無			
【内容】			
同専門学校他学科での指導経験等実務経験有			

科目名 歯科薬理学		科目時間総数 15 時間	教員名 高田 智美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	局所麻酔薬①	局所麻酔薬の作用機序を説明できる。局所麻酔薬に血管収縮薬を添加する目的を説明できる。	
2 限	局所麻酔薬②	局所麻酔薬を化学構造に基づいて分類し、代表薬をあげることができる。局所麻酔薬の適用法、副作用を説明できる。	
3 限	う蝕予防薬 歯内療法薬①	フッ化物の臨床応用について説明できる。 歯髄の保存療法に用いる薬物について説明できる。	
4 限	歯内療法薬②	感染根管治療に用いる薬物について説明できる。象牙質知覚過敏症に用いる薬物について説明できる。	
5 限	歯周疾患治療薬①	歯周治療において局所投与、全身投与される薬物について説明できる。	
6 限	歯周疾患治療薬②	洗口薬について説明できる。口臭治療に用いる薬物について説明できる。	
7 限	顎・口腔粘膜疾患と薬	菌性感染症、口腔粘膜疾患に用いる薬物について説明できる。顎関節症、口腔乾燥症、神経疾患に用いる薬物をあげることができる。	
8 限	漢方医学と薬物	漢方薬について説明できる。（授業時間：1時間）	
		試験	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 口腔衛生学Ⅲ (保健情報統計)	教員名 安藤 歩
科目時間数 : 20 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : 必修	配当学年 : 3年生 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 歯科衛生統計の基本的考え方を学び、歯科臨床や保健情報のデータから、統計学的な解析を行う方法を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 医療の現場で得られる様々なデータは、そのままでは理解することが難しい場合も多い。データを視覚的、数量的にまとめ、有用な情報を抽出するための方法を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>①データと情報の違いを説明できる。 ②疫学の目的を説明できる。 ③保健調査の基本を説明できる。 ④データの数値のもつ特徴を説明できる。 ⑤検定の流れを説明できる。 ⑥図表の種類と特徴を列挙できる。 ⑦図表を作成できる。</p>	
	使用教材
学生・教員	出版社
	最新歯科衛生士教本「保健情報統計学」 医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
口腔衛生学Ⅲ		20	安藤 歩
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	保健情報と保健統計 保健情報と疫学①	保健情報・保健統計・エビデンスを説明する。 疫学概論について説明する。	
2 限	保健情報と疫学②	疫学の方法論（調査方法・研究方法）を具体的に述べる。有病と罹患について説明する。	
3 限	疫学調査の進め方	母集団と標本、標本調査を行う。スクリーニングを行う。	
4 限	データのまとめ方①	データの尺度について説明する。代表値と散布度を選択できる。	
5 限	データのまとめ方②	度数分布を表すことができる。単純集計、クロス集計を行う。	
6 限	データの分析法①	相関について説明できる。推定について述べる。	
7 限	データの分析法② 検定結果の解釈①	検定法を選択できる。 対応のある t 検定を行う。	
8 限	検定結果の解釈②	対応のない t 検定を行う。カイ二乗検定を行う。	
9 限	データの表現①	図表の種類と特徴を述べることができる。図表の基本事項をあげることができる。	
10 限	データの表現②	図表を作成できる。	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 衛生行政・社会福祉	教員名 昆 秀博		
科目時間数 : 15 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 3年	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p>【授業の目的】 歯科衛生士がさまざまな分野で活動するうえで、その根幹となる保健・医療・福祉の制度を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 国の保健・医療・福祉の制度を解説し、岩手県の現状等を紹介していく。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>① 社会保障制度の体系を知り、社会保障制度の考え方と私たちの生活のつながりについて理解できる。 ② 地域保健に係る行政制度の根幹である組織、関係者等について理解できる。 ③ 法に基づいて業務ができるように、関連する法律の内容を理解できる。 ④ 国民の健康状態や医療関係者の推移、統計調査資料の利用方法を理解できる。 ⑤ 疾病の時や労働者、高齢者、要介護者などの生活を保障する制度の仕組みと運用を理解できる。 ⑥ 生活保護、児童、障害者などの福祉サービスの進め方、サービスの仕組みと運用について理解できる。</p>			
	使用教材	出版社	
学生・教員	「歯科衛生士のための 衛生行政 社会福祉 社会保険」	医歯薬出版	
<p>【使用教室】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 社会福祉士として行政機関での業務等実務経験有</p>			

科目名 衛生行政 社会福祉		科目時間総数 15 時間	教員名 昆 秀博
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	社会保障制度	わが国の社会保障制度の種類を列挙できる。 ライフステージ別の社会保障制度について列挙する。	
2 限	衛生行政	衛生行政の目的や特色、沿革について説明できる。 衛生行政の組織、関係者について述べる。	
3 限	衛生関係法	歯科衛生士法の目的や定義等、法律の内容について述べる。 関連する医療関係者の身分に関する法、医療・薬事・地域保健に関連する法について列挙する。	
4 限	保健医療の動向	わが国の保健関係の統計調査制度と調査結果について概況を説明できる。 国民の健康状態や医療関係者の推移について説明できる。	
5 限	社会保険①	医療保険の種類とその法律を説明できる。年金制度や雇用保険・労働者災害補償保険制度と法律について説明できる。	
6 限	社会保険② 社会福祉①	介護保険制度の仕組みを概説できる。 社会福祉行政を担当する組織をあげることができる。	
7 限	社会福祉② 保険医療の実務①	生活保護、児童、障害者などの福祉サービスについて説明できる。 医療保険の仕組みについて説明する。	
8 限	保険医療の実務②	保険医療機関での実務の基本について説明する。 (授業時間：1時間)	
		試験	

科目名		科目時間総数	教員名
う蝕予防処置Ⅲ		15	大友さつき 高橋由紀子 佐々木由紀恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	小窩裂溝填塞法①	小窩裂溝填塞材の種類を列挙できる。小窩裂溝填塞の作用機序について説明できる。	
2 限	小窩裂溝填塞法②	小窩裂溝填塞法の術式と術後の注意事項を説明できる。小窩裂溝填塞法実施上の注意について説明できる。	
3 限	小窩裂溝填塞法③	実技 マネキン実習：小窩裂溝填塞法を実施する。	
4 限	フッ化ジアンミン銀塗布法	フッ化ジアンミン銀塗布の効果、作用機序、術式、注意事項について説明できる。 演習：フッ化ジアンミン銀の着色・脱色実習を行う。	
5 限	フッ化ジアンミン銀塗布・小窩裂溝填塞法実習①	実技 相互実習：フッ化ジアンミン銀塗布、小窩裂溝填塞法を実施する。	
6 限	フッ化ジアンミン銀塗布・小窩裂溝填塞法実習②	実技 相互実習：フッ化ジアンミン銀塗布、小窩裂溝填塞法を実施する。	
7 限	各種薬物の応用によるプラークの除去 う蝕予防処置法の一般的注意	薬物応用によるプラークの除去について列挙する。 業務記録を作成する。	
8 限	う蝕予防処置集団応用の考え方	う蝕予防処置集団応用の特徴を列挙する。（授業時間：1時間）	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 歯周病予防処置Ⅲ	教員名 大友さつき 高橋由紀子 佐々木由紀恵 小田郁子
科目時間数 : 60 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 人々のニーズに合った歯科衛生支援を行うために、論理的に思考し、問題発見及び解決できる知識技術を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 今まで習得してきた歯周病予防処置法について、歯科衛生過程の考え方に整理し科学的な根拠をもって応えられるよう、知識、技術を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 歯科衛生過程の基本的な考え方を説明できる。 ② 歯科衛生アセスメントについて説明できる。 ③ 歯科衛生診断について説明できる。 ④ 歯科衛生計画立案について説明できる。 ⑤ 歯科衛生評価について説明できる。 ⑥ 歯科衛生過程における書面化（記録）について説明できる。 ⑦ 歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理を説明できる。 ⑧ 歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画立案、歯科衛生評価を記録することができる。 ⑨ 歯科衛生介入のための歯科予防処置法を行うことができる。 ⑩ キュレットスケーラー等使用器具の管理ができる。 	
	使用教材
学生・教員	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 「歯科衛生課程 HAND BOOK」
	出版社
	医歯薬出版 クインテッセンス出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 歯科医療機関において歯科衛生士の実務経験有</p>	

科目名		科目時間総数		教員名	
歯周病予防処置Ⅲ		60 時間		大友さつき 高橋由紀子 佐々木由紀恵 小田郁子	
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1 限	歯科衛生課程の概要	講義	歯周病予防の概念を3つの予防レベルと5つの手段に分けて具体的に説明できる。日本及び岩手県の健康増進施策を説明できる。		
2 限	歯科衛生課程の概要	講義	行動変容の理論を健康信念モデルに合わせて説明できる。歯科衛生過程の6つの構成要素について説明できる。		
3 限	歯科衛生過程の進め方	講義 演習	歯科衛生アセスメント 情報の整理・分類を説明できる。モデル症例を用いて情報を整理・分類し歯科衛生過程シートに記入できる。		
4 限	歯科衛生過程の進め方	講義 演習	歯科衛生アセスメント 情報の解釈・分析を説明できる。モデル症例を用いて情報を解釈・分析し歯科衛生過程シートに記入できる。		
5 限	歯科衛生過程の進め方	講義 演習	歯科衛生診断 情報の統合を説明できる。モデル症例を用いて情報を統合し歯科衛生過程シートに記入できる。		
6 限	歯科衛生過程の進め方	講義	歯科衛生診断 歯科衛生診断のタイプ、作成を説明できる。診断句、原因句の書き方の注意事項を説明できる。		
7 限	歯科衛生過程の進め方	講義 演習	歯科衛生診断 歯科診断介入の優先順位づけ＝プロブレムリストを説明できる。モデル症例を用いてプロブレムリストを作成できる。		
8 限	歯科衛生過程の進め方	講義 演習	歯科衛生計画 目標の設定、歯科衛生介入方法の決定を説明できる。モデル症例を用いて歯科衛生計画、歯科衛生介入方法の決定を記述できる。		
9 限	歯科衛生過程の進め方	講義 演習	歯科衛生介入についてSOAP形式の記録を説明できる。モデル症例を用いて歯科衛生介入をSOAP形式で記載できる。		
10 限	歯科衛生過程の進め方	講義	歯科衛生評価（プロセスと結果の評価）を説明できる。歯科衛生評価の手順を説明できる。		
11 限	歯科衛生過程の進め方 歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	講義	歯科衛生過程のすべてのプロセスの書面化について、注意事項を説明できる。情報収集の目的や得られる情報を説明できる。		
12 限	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	講義 実技	患者からの情報採取の方法を説明できる。相互実習：医療面接の実際と健康調査票への記録ができる。		
13 限	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	講義	口腔内の観察項目と歯科衛生介入に関連する検査方法を説明できる。口腔清掃や歯周疾患の指数を説明できる。		
14 限	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	実技	相互実習：歯科衛生介入に関連する各種検査を実施できる。		
15 限	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	実技	相互実習：歯科衛生介入に関連する各種検査を実施できる。		
16 限	歯科衛生介入のための歯科予防処置	講義 実技	歯科衛生介入のための歯周病予防処置の方法を説明できる。相互実習：キュレットスケーラーを適切に操作できる。（上下顎前歯部）		
17 限	歯科衛生介入のための歯科予防処置	実技	相互実習：キュレットスケーラーを適切に操作できる。（上下顎前歯部、下顎臼歯部）		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
18 限	歯科衛生介入のための 歯科予防処置	実技	相互実習：キュレットスケーラーを適切に操作できる。（上下顎臼歯部）
19 限	歯科衛生介入のための 歯科予防処置	実技	相互実習：キュレットスケーラーを適切に操作できる。（上顎臼歯部）全額の各部位においてキュレットスケーラーを適切に操作できる。
20 限	歯科衛生介入のための 歯科予防処置	実技	相互実習：歯面研磨・歯面清掃方法を選択し、実施できる。
21 限	歯科衛生介入のための 歯科予防処置	実技	マネキン実習：超音波スケーラー操作が適切にできる。
22 限	臨床における歯科衛生 活動	講義 演習	歯周病（成人）を対象とした臨床の流れを説明できる。目標の設定、介入計画、実施、再評価、メンテナンスについて具体的に説明できる。
23 限	臨床における歯科衛生 活動	講義 演習	障害者を対象とした臨床の流れを説明できる。目標の設定、介入計画、実施、再評価、メンテナンスについて具体的に説明できる。
24 限	臨床における歯科衛生 活動	講義 実技	偶発事故の防止と対策について説明できる。 相互実習：術者側の偶発事故を想定した適切な対処ができる。
25 限	臨床における歯科衛生 活動	実技 演習	相互実習：患者に対する偶発事故を想定した適切な対処ができる。 偶発事故についての報告書を具体的に記述することができる。
26 限	スケーラー、キュレ ットのシャープニング	実技	シッケルスケーラー、キュレットスケーラーのシャープニングを適切に行うことができる。
27 限	歯周病に関連する検査	講義	歯周病に関連する検査を列挙することができる。根分岐部の想定方法を説明できる。
28 限	歯周病に関連する検査	実技	マネキン実習：ファーケーションプローブを使用して根分岐部の測定ができる。 唾液を検体とする検査の手順を説明できる。
29 限	歯周病予防処置法のま とめ	講義	歯科予防処置の法的位置づけを説明できる。口腔の基礎知識について具体的に説明できる。
30 限	歯周病予防処置法のま とめ	講義	歯科衛生過程の進め方を説明できる。口腔保健に関する指数について説明できる。
	実技試験		
	筆記試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 歯科保健指導Ⅲ	教員名 大友さつき 高橋由紀子 浪岡多津子 佐々木由紀恵
科目時間数 : 60 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 対象別・症例別歯科保健指導を実施し、ライフスタイルにあった生涯を通じた口腔保健管理ができるようになる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 これまでに学んだ歯科保健指導に関する内容を基礎として、対象別、症例別歯科保健指導の実際について示し、生涯を通じた口腔保健管理ができる指導能力を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 歯科衛生アセスメントについて説明できる。 ② 歯科衛生診断について説明できる。 ③ 歯科衛生計画立案について説明できる。 ④ 歯科衛生介入について説明できる。 ⑤ 歯科衛生評価について説明できる。 ⑥ 集団に対する伝達方法を説明できる。 ⑦ 学校における歯科保健指導の概要について説明できる。 ⑧ 高齢者保健における歯科保健指導の概要について説明できる。 	
	使用教材
学生・教員	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
	出版社
	医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 歯科医療機関において歯科衛生士の実務経験あり</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
歯科保健指導Ⅲ		60	大友さつき 高橋由紀子 浪岡多津子 佐々木由紀恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	時間 主な学習内容と到達目標	
1 限	歯科衛生過程演習①	模擬患者実習実施について概要を説明できる。歯科衛生過程の進め方を復習する。	
2 限	歯科衛生過程演習②	演習：情報収集と医療面接を行う。	
3 限	歯科衛生過程演習③	演習：模擬患者実習の準備をする。	
4 限	模擬患者実習①	実技：情報収集を行う。	
5 限	模擬患者実習②	実技：情報収集を行う。	
6 限	歯科衛生過程演習①	演習：歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画を行う。	
7 限	歯科衛生過程演習②	演習：歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画を行う。	
8 限	歯科衛生過程演習③	実技：ロールプレイを行う。	
9 限	園児への歯科保健教育①	実技：歯科保健教育を実施する。	
10 限	園児への歯科保健教育②	実技：歯科保健教育を実施する。	
11 限	園児への歯科保健教育③	演習：臨地実習の準備をする。	
12 限	生徒への歯科保健教育①	実技：歯科保健教育を実施する。	
13 限	生徒への歯科保健教育②	実技：歯科保健教育を実施する。	
14 限	生徒への歯科保健教育③	演習：臨地実習の準備をする。	
15 限	高齢者・障害者への歯科保健教育①	実技：歯科保健教育を実施する。	
16 限	高齢者・障害者への歯科保健教育②	実技：歯科保健教育を実施する。	
17 限	高齢者・障害者への歯科保健教育③	演習：臨地実習の準備をする。	
18 限	歯科衛生過程演習	演習：必要媒体を準備する。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
19 限	模擬患者実習①	実技：歯科衛生介入を行う。
20 限	模擬患者実習②	実技：歯科衛生介入を行う。
21 限	母子歯科保健①	乳幼児健康診査の概要を説明できる。3歳児健康診査の内容を列挙できる。
22 限	母子歯科保健②	3歳児健康診査におけるう蝕罹患型区分とそれに基づく保健指導について説明できる。
23 限	歯科衛生過程演習①	演習：指導案の見直しを行う。
24 限	歯科衛生過程演習②	演習：指導案を作成する。
25 限	歯科衛生過程演習③	演習：必要媒体の準備を行う。
26 限	模擬患者実習①	実技：歯科衛生介入、記録を行う。
27 限	模擬患者実習②	実技：歯科衛生介入、記録を行う。
28 限	歯科衛生過程演習①	演習：歯科衛生評価、記録を行う。
29 限	歯科衛生過程演習②	演習：歯科衛生評価、記録を行う。
30 限	歯科衛生過程演習③	歯科衛生過程のまとめを行う。
	試験	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 歯科診療補助Ⅲ	教員名 大友さつき 高橋由紀子 佐々木由紀恵 小田郁子
科目時間数 : 45 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 専門的な歯科診療の補助のために必要な基礎的知識、技術および態度を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 今まで学んだ歯科診療補助に関する知識・技術の習熟をはかり、医療疾患患者や偶発症への対応ができるよう、応用力を身につける。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①プロビジョナルレストレーションの作成手順を説明できる。 ②医療法と医療安全対策について説明できる。 ③レーザー装置の管理ができる。 ④漂白法の手順と器材・薬剤について説明できる。 ⑤インプラント治療用器材の使用目的を説明できる。 ⑥麻酔時の薬剤の準備と取扱いについて説明できる。 ⑦周術期口腔機能管理の概要を説明できる。 ⑧保険医療制度、診療報酬の基礎について理解できる。 ⑨バイタルサインの測定ができる。 ⑩一次救命処置の手順を説明できる。 	
	使用教材
学生・教員	「歯科診療補助論 第2版」 「歯科機器」 「歯科材料」 「歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険」 「歯科衛生士のための歯科診療報酬入門」
	出版社
	医歯薬出版
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR ②. 基礎実習室 ③. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 歯科医療機関において歯科衛生士の実務経験あり</p>	

科目名 歯科診療補助Ⅲ		科目時間総数 45 時間	教員名 大友さつき 高橋由紀子 佐々木由紀恵 小田郁子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	暫間修復材 テンポラリークラウン 作製Ⅰ①	暫間修復材の用途・種類を説明できる。 実技 マネキン実習：テンポラリークラウンの作成・仮着し、余剰セメント除去を行う。	
2 限	テンポラリークラウン 作製Ⅰ②	実技 マネキン実習：テンポラリークラウンの作成・仮着し、余剰セメント除去を行う。	
3 限	テンポラリークラウン 作製Ⅱ①	実技 マネキン実習：テンポラリークラウンを作成する。	
4 限	テンポラリークラウン 作製Ⅱ②	実技 マネキン実習：テンポラリークラウンを作成する。	
5 限	医療安全	医療法と医療安全対策について説明できる。 演習：K Y T（危険予知訓練）を行う。	
6 限	レーザー治療	治療用レーザーの種類と用途を説明できる。レーザー治療の禁忌症例を列挙する。	
7 限	歯の漂白	漂白法の種類、適応症を説明できる。漂白法の手順、使用する器材・薬剤、術後指導を説明できる。	
8 限	インプラント治療時の 診療補助①	インプラント治療の例と診療補助の留意点を説明できる。インプラント治療用器具を説明できる。	
9 限	インプラント治療時の 診療補助②	インプラント治療用器具を説明できる。インプラント手術後の患者指導を説明できる。	
10 限	周術期における歯科診 療の補助	周術期口腔機能管理の概要、病態の把握を説明できる。治療時の対応、保険制度における周術期口腔機能管理について説明できる。	
11 限	社会保険①	保険の概念について説明できる。レセプトと保険請求の仕組みについて説明できる。	
12 限	社会保険②	保険医療機関での実務について説明できる。歯科点数表について説明できる。	
13 限	社会保険③	点数表の略称について説明できる。初診料と再診料について説明できる。	
14 限	社会保険④	レセプトの書き方について説明できる。歯科衛生士に関する項目（歯周治療・周術期等口腔機能管理・在宅医療）について説明できる。	
15 限	社会保険⑤	日常臨床で必要な項目について説明できる。 演習：歯周治療の事例より、レセプトを作成する。	
16 限	社会保険⑥	演習：周術期等口腔機能管理、および在宅医療の事例よりレセプトを作成する。	
17 限	歯科領域に必要な臨床 検査	臨床検査の補助の目的、役割、検査の種類を説明できる。 実技：全身管理用機器（血圧計・パルスオキシメーター）を取扱いできる。	
18 限	歯科麻酔時の診療補助 ①	局所麻酔の例と診療補助の流れを説明できる。吸入鎮静・静脈内鎮静の例と診療補助を説明できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
19 限	歯科麻酔時の診療補助 ②	全身麻酔での診療補助の流れ、モニター機器について説明できる。 (授業時間：1時間)
20 限	救急処置①	歯科治療時の全身的偶発症の概要を説明できる。緊急事態の予防対策、救急処置の準備を列挙できる。
21 限	救急処置②	救命の連鎖について説明できる。一次救命処置のアルゴリズムを説明できる。
22 限	救急処置③	実技：CPRを実施する。
23 限	救急処置④	実技：CPR+AEDを実施する。
		試験

科目名 臨床・臨地実習Ⅲ	科目時間総数 495	教員名 臨床・臨地実習指導者
時間数	時間 主な学習内容と到達目標	
歯科診療所実習 1日8時間×48日＝384時間 1日7時間×11日＝77時間	<ul style="list-style-type: none"> ・患者および指導者に対し、笑顔で挨拶する。 ・歯科治療に必要な器材の準備ができる。 ・歯科治療の術式および使用器材の用途を列挙できる。 ・状況に応じたライティングやバキューム操作ができる。 ・歯科材料を用途に応じて取り扱う。 ・歯科医療機関の感染予防対策のルールを守ることができる。 ・患者の状態に応じた保健指導ができる ・患者優先の姿勢を持ち、優しく対応できる。 ・全身的な疾患と歯科との関連について説明できる。 ・実習内容を記録にまとめることができる。 	
保育所実習 1日3時間×1日	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児や職員とコミュニケーションを図る。 ・幼児の人権・人格を尊重した対応をする。 ・幼児の反応を確認しながら歯科健康教育を行う。 ・幼児の発達に応じた口腔清掃指導をする。 ・実習内容を記録にまとめることができる。 	
中学校実習 1日3時間×1日	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒とコミュニケーションを図る。 ・生徒の反応を確認しながら歯科健康教育を実施する。 ・口腔衛生指導を行うために必要な情報を収集する。 ・適切な歯科衛生介入を行う能力を養う。 ・実習内容を記録にまとめることができる。 	
高等学校実習 1日3時間×1日	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒とコミュニケーションを図る。 ・生徒の反応を確認しながら歯科健康教育を実施する。 ・口腔衛生指導を行うために必要な情報を収集する。 ・適切な歯科衛生介入を行う能力を養う。 ・実習内容を記録にまとめることができる。 	
社会福祉施設実習	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の人権と主体性を尊重し、敬意をもって接する。 	

時間数	主な学習内容と到達目標
1日3時間×1日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者および職員とコミュニケーションを図ることができる。 ・口腔衛生指導を行うために必要な情報を収集する。 ・利用者の口腔清掃の介助ができる。 ・実習内容を記録にまとめることができる。
高齢者施設実習 1日6時間×3日＝18時間	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に従事する他職種との関わりの中で、高齢社会に対処できる基礎的能力を養う。 ・歯科衛生士の行う口腔ケアを見学し、技術や関わり方を習得する。 ・利用者および職員とコミュニケーションを図ることができる。 ・利用者に対し、歯科健康教育を実践できる。 ・利用者の口腔清掃の介助ができる。 ・車椅子の移動介助ができる。 ・実習内容を記録にまとめることができる。
市保健所実習 (3歳児健康診査) 1日4時間×1日	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児健康診査の目的を説明できる。 ・3歳児健康診査の心身状況を把握できる。 ・3歳児健康診査のう蝕罹患型を分類する。 ・う蝕罹患型に応じた歯科保健指導の要点を述べる。 ・保健所における歯科衛生士の役割を述べる。 ・保健所に勤務する専門職種とその業務を述べる。 ・他の専門職とコミュニケーションを図る能力を養う。
計 67日間 495時間	

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	有病者歯科	教員名	八森 寛
科目時間数 :	15	時間	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	担当学年 :	3年生
		開講時期 :	(前期)・後期・集中
<p>【授業の目的】 全身疾患の基礎知識と口腔との関連、歯科衛生士業務における留意点を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 診療室内外でますます求められる全身疾患の知識、全身から口腔をみる、口腔から全身をみる目、多職種連携などについて講義する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>①全身疾患の基礎知識と口腔との関連、歯科衛生士業務における留意点を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病 ・心疾患 ・脳血管疾患 ・高血圧症 ・肺炎、誤嚥性肺炎 ・腎疾患 ・肝炎 ・精神疾患 ・骨粗鬆症 ・血液疾患 ・がん <p>②がん手術前後の口腔衛生管理を説明できる。</p> <p>③全身疾患の知識を臨床で活かすための情報を理解できる。</p>			
	使用教材	出版社	
学生・教員	「歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック」	医歯薬出版	
【使用教室】			
<p>1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室</p> <p>4. その他 ()</p>			
【評価方法】			
<p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
【備考】			
<p style="text-align: center;">※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。</p> <p>評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する。</p>			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 歯科診療所等において歯科医師の実務経験有			

科目名		科目時間総数	教員名
有病者歯科		15 時間	八森 寛
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	全身疾患の基礎知識と歯科診療における注意点①	歯科衛生士に全身疾患の知識が必要な理由を述べる。代謝・内分泌疾患の概要や口腔との関連、歯科診療における注意点を説明できる。	
2 限	全身疾患の基礎知識と歯科診療における注意点②	消化器疾患、循環器疾患の概要や口腔との関連、歯科診療における注意点を説明できる。	
3 限	全身疾患の基礎知識と歯科診療における注意点③	血液疾患、呼吸器疾患の概要や口腔との関連、歯科診療における注意点を説明できる。	
4 限	全身疾患の基礎知識と歯科診療における注意点③	腎・泌尿器疾患、免疫・膠原病の概要や口腔との関連、歯科診療における注意点を説明できる。	
5 限	全身疾患の基礎知識と歯科診療における注意点④	感染症、神経疾患の概要や口腔との関連、歯科診療における注意点を説明できる。	
6 限	全身疾患の基礎知識と歯科診療における注意点⑤	精神疾患、産科・婦人科疾患の概要や口腔との関連、歯科診療における注意点を説明できる。	
7 限	全身疾患の基礎知識と歯科診療における注意点⑥	がんの概要や口腔との関連、歯科診療における注意点を説明できる。がん手術前後、放射線療法・化学療法時の口腔衛生管理を説明できる。	
8 限	臨床で活かすための情報	臨床検査値データや照会状より患者の情報を読み取ることができる。 (授業時間：1時間)	
	試験		

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	災害歯科保健	教員名	大黒英貴 大友さつき
科目時間数 :	15	時間	授業の種類 :
必修・選択の別 :	(必修)・選択	配当学年 :	3年生
		開講時期 :	(前期)・後期・集中
<p>【授業の目的】 大規模災害時の保健医療対策及び被災地での歯科保健活動を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 東日本大震災津波の被災県である岩手県における歯科保健活動の実際と、今後起こりうる災害に備え、歯科保健従事者として被災地支援に関わる一員としての役割について講義する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①大規模災害時の保健医療対策を概説できる。 ②被災地での歯科保健活動を概説できる。 ③被災地での歯科保健活動におけるアセスメントについて説明できる。 ④フェーズ区分ごとの口腔ケアの方法を実施できる。 ⑤多くの支援団体との連携の中の多団体との関係や歯科衛生士としての役割を理解する。 			
	使用教材	出版社	
学生・教員	歯科衛生士教本「保健生態学」 その他	医歯薬出版	
【使用教室】			
1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()			
【評価方法】			
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 歯科医療機関において、歯科医師または歯科衛生士の実務経験あり			

科目名		科目時間総数	教員名
災害歯科保健		15 時間	大黒英貴 大友さつき
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	被災地での歯科保健活動の 実際から 災害時の医療・歯科保健体 体制	東日本大震災における歯科保健医療活動や災害時の支援について知る。 「災害支援」対策の法律について説明する。災害発生後のフェーズ区分を列挙する。	
2 限	災害時の医療・歯科保 健体制	医療救護チームの活動を知る。トリアージ区分について列挙する。誤嚥性肺炎と災害関連死について説明する。災害時における歯科コーディネートの実際について説明できる。	
3 限	多職種連携	多くの支援団体との連携における歯科衛生士としての役割を説明する。 (授業時間：1時間)	
4 限	被災地での歯科保健活 動	被災地での歯科保健の基本姿勢と行動について説明する。必要物品を列挙する。アクションカードの活用について述べる。	
5 限	被災地での歯科保健活 動	被災者の精神・心理面について説明できる。災害時の口腔ケアについて具体的の述べる。	
6 限	被災地での歯科保健活 動	演習：アセスメント票を活用できる	
7 限	被災地見学	演習：被災地現地に出向き、当時の状況と現在の状況を知る。	
8 限	被災地見学	演習：被災地現地に出向き、当時の状況と現在の状況を知る。	
	試験		

科目名		科目時間総数	教員名
研究		45	大友さつき 浪岡多津子 高橋由紀子 佐々木由紀恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	時間	
		主な学習内容と到達目標	
1 限	研究とは	研究の目的と手順、研究方法を説明できる。レポートとグループ研究の違いを述べる。	
2 限	問題発見	研究テーマの選択できる。テーマ選択の指針、仮説の設定について説明できる。	
3 限	研究の準備	研究に役立つ文献の検索、文献検索の方法を説明する。文献収集について説明できる。	
4 限	研究の準備	演習：文献検索を行う。	
5 限	問題解決の手順	研究計画について説明する。	
6 限	倫理的配慮と個人情報の保護	倫理について説明する。個人情報の保護について説明する。	
7 限	データの収集	データの収集方法を列挙する。アンケート調査について説明する。	
8 限	データの収集	データの種類を列挙する。データの集計について説明する。	
9 限	データから解決策を見つける手段	データ解析の基礎知識について説明する。統計学の役割を述べる。	
10 限	データから解決策を見つける手段	データの解析について説明する。統計学的分析について説明する。	
11 限	データから図表をつくる	表の作成方法、グラフの種類について説明できる。グラフの作成方法について説明できる。	
12 限	データから図表をつくる	グラフの作成方法について説明できる。	
13 限	論文にまとめる	論文の書き方について説明する。	
14 限	論文にまとめる	参考文献の意味と書き方について説明できる。論文の体裁、参考文献の整理について説明できる。	
15 限	発表	発表の手順について説明する。抄録の作成について説明する。	
16 限	発表	プレゼンテーション資料の作成方法を述べる。	
17 限	研究の実践	演習：研究テーマを選択する。研究計画書を作成する。	
18 限	研究の実践	演習：データを収集する。データを集計する。	
18 限	研究の実践	演習：表を作成する。グラフを作成する。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
19 限	研究の実践	演習：抄録を作成する。
20 限	研究の実践	演習：プレゼンテーション資料を作成する。
21 限	研究の実践	演習：プレゼンテーション資料を作成する。
22 限	研究の実践	演習：研究内容を発表する。
23 限	研究の実践	演習：研究内容をまとめる。（授業時間：1時間）

授業計画表

歯科衛生士 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 歯科衛生士国家試験対策	教員名 大友さつき 浪岡多津子 高橋由紀子 佐々木由紀恵	
科目時間数 : 60 時間	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 3年生	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的】 自分の学習の到達度を把握し、弱点分野の克服に努め、自信をもって歯科衛生士国家試験に臨むことができるようにする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 自分の実力や弱点分野を把握し、講義により知識を整理・確認する。各分野の出題傾向を分析し練習問題等を通じて実力をつけ、全国模試で合格基準クリアを目指す。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>①模試において7割5分正答することができる。 ②模試において、マークミスなく解答できる。 ③集中して模試に臨むことができる。 ④講義内容や模試結果より、自分の実力を認識できる。 ⑤苦手分野を把握し、克服することができる。 ⑥本科目の時間のみにとどまらず、日常の学習につなげることができる。</p>		
	使用教材	出版社
学生・教員	各種教科書 全国模試、校内模試 等	
<p>【使用教室】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 基礎実習室 3. 歯科臨床実習室 4. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項等。 評価について：筆記試験及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D(59点以下) の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 歯科医療機関において歯科衛生士の実務経験有</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
歯科衛生士国家試験対策		60 時間	大友さつき 浪岡多津子 高橋由紀子 佐々木由紀恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	歯科衛生士国家試験の概要	出題方法、出題形式、試験科目について説明できる。	
限	人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能	「解剖学・組織発生学、生理学、栄養学、生化学」 人体の構造・組織、機能、構成成分に関する基本的知識について具体的に述べる。	
2	人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能	「解剖学・組織発生学、生理学、栄養学、生化学」 人体の構造・組織、機能、構成成分に関する基本的知識について具体的に述べる。	
限	歯・口腔の構造と機能	「口腔解剖学・口腔組織発生学、歯牙解剖学、口腔生理学」 歯・口腔の構造およびその周囲組織、機能、組成に関する基本的知識について具体的に述べる。	
3	歯・口腔の構造と機能	「口腔解剖学・口腔組織発生学、歯牙解剖学、口腔生理学」 歯・口腔の構造およびその周囲組織、機能、組成に関する基本的知識について具体的に述べる。	
限	歯・口腔の構造と機能	「口腔解剖学・口腔組織発生学、歯牙解剖学、口腔生理学」 歯・口腔の構造およびその周囲組織、機能、組成に関する基本的知識について具体的に述べる。	
4	歯・口腔の構造と機能	「口腔解剖学・口腔組織発生学、歯牙解剖学、口腔生理学」 歯・口腔の構造およびその周囲組織、機能、組成に関する基本的知識について具体的に述べる。	
限	歯・口腔の構造と機能	「口腔解剖学・口腔組織発生学、歯牙解剖学、口腔生理学」 歯・口腔の構造およびその周囲組織、機能、組成に関する基本的知識について具体的に述べる。	
5	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	「病理学、微生物学、薬理学、歯科薬理学」 病因と病態、感染と免疫、生体と薬物に関する基本的知識について具体的に述べる。	
限	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	「病理学、微生物学、薬理学、歯科薬理学」 病因と病態、感染と免疫、生体と薬物に関する基本的知識について具体的に述べる。	
6	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	「病理学、微生物学、薬理学、歯科薬理学」 病因と病態、感染と免疫、生体と薬物に関する基本的知識について具体的に述べる。	
限	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	「病理学、微生物学、薬理学、歯科薬理学」 病因と病態、感染と免疫、生体と薬物に関する基本的知識について具体的に述べる。	
7	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	「口腔衛生学、衛生学・公衆衛生学、衛生行政・社会福祉」 歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進、疫学と歯科保健統計および地域歯科保健活動に関する基本的知識について説明できる。 健康を保持増進するために必要となる基本的知識について説明できる。 歯科衛生士として必要となる保健・医療・福祉の関連法規と制度について説明できる。	
限	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	「口腔衛生学、衛生学・公衆衛生学、衛生行政・社会福祉」 歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進、疫学と歯科保健統計および地域歯科保健活動に関する基本的知識について説明できる。 健康を保持増進するために必要となる基本的知識について説明できる。 歯科衛生士として必要となる保健・医療・福祉の関連法規と制度について説明できる。	
8	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	「口腔衛生学、衛生学・公衆衛生学、衛生行政・社会福祉」 歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進、疫学と歯科保健統計および地域歯科保健活動に関する基本的知識について説明できる。 健康を保持増進するために必要となる基本的知識について説明できる。 歯科衛生士として必要となる保健・医療・福祉の関連法規と制度について説明できる。	
限	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	「口腔衛生学、衛生学・公衆衛生学、衛生行政・社会福祉」 歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進、疫学と歯科保健統計および地域歯科保健活動に関する基本的知識について説明できる。 健康を保持増進するために必要となる基本的知識について説明できる。 歯科衛生士として必要となる保健・医療・福祉の関連法規と制度について説明できる。	
9	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	「口腔衛生学、衛生学・公衆衛生学、衛生行政・社会福祉」 歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進、疫学と歯科保健統計および地域歯科保健活動に関する基本的知識について説明できる。 健康を保持増進するために必要となる基本的知識について説明できる。 歯科衛生士として必要となる保健・医療・福祉の関連法規と制度について説明できる。	
限	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	「口腔衛生学、衛生学・公衆衛生学、衛生行政・社会福祉」 歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進、疫学と歯科保健統計および地域歯科保健活動に関する基本的知識について説明できる。 健康を保持増進するために必要となる基本的知識について説明できる。 歯科衛生士として必要となる保健・医療・福祉の関連法規と制度について説明できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
10 限	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	<p>「口腔衛生学、衛生学・公衆衛生学、衛生行政・社会福祉」 歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進、疫学と歯科保健統計および地域歯科保健活動に関する基本的知識について説明できる。 健康を保持増進するために必要となる基本的知識について説明できる。 歯科衛生士として必要となる保健・医療・福祉の関連法規と制度について説明できる。</p>
11 限	歯科衛生士概論	<p>「歯科衛生士概論、歯科医療倫理」 歯科衛生士の業務を実践するために必要な考え方、医療倫理、医療安全管理およびチーム医療について説明できる。</p>
12 限	臨床歯科医学・歯科診療補助論	<p>臨床歯科医学「臨床歯科総論、保存修復・歯内療法、歯周病学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学、矯正歯科学、歯科放射線学」 歯科衛生士が業務を行うために必要となる歯科臨床に関する基本的知識について具体的に述べる。 歯科診療補助論「総論、歯科材料、保存・補綴・口腔外科・矯正歯科・小児歯科・高齢者・障害者・X線撮影の診療補助、救命救急処置」 歯科診療補助に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。</p>
13 限	臨床歯科医学・歯科診療補助論	<p>臨床歯科医学「臨床歯科総論、保存修復・歯内療法、歯周病学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学、矯正歯科学、歯科放射線学」 歯科衛生士が業務を行うために必要となる歯科臨床に関する基本的知識について具体的に述べる。 歯科診療補助論「総論、歯科材料、保存・補綴・口腔外科・矯正歯科・小児歯科・高齢者・障害者・X線撮影の診療補助、救命救急処置」 歯科診療補助に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。</p>
14 限	臨床歯科医学・歯科診療補助論	<p>臨床歯科医学「臨床歯科総論、保存修復・歯内療法、歯周病学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学、矯正歯科学、歯科放射線学」 歯科衛生士が業務を行うために必要となる歯科臨床に関する基本的知識について具体的に述べる。 歯科診療補助論「総論、歯科材料、保存・補綴・口腔外科・矯正歯科・小児歯科・高齢者・障害者・X線撮影の診療補助、救命救急処置」 歯科診療補助に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。</p>
15 限	臨床歯科医学・歯科診療補助論	<p>臨床歯科医学「臨床歯科総論、保存修復・歯内療法、歯周病学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学、矯正歯科学、歯科放射線学」 歯科衛生士が業務を行うために必要となる歯科臨床に関する基本的知識について具体的に述べる。 歯科診療補助論「総論、歯科材料、保存・補綴・口腔外科・矯正歯科・小児歯科・高齢者・障害者・X線撮影の診療補助、救命救急処置」 歯科診療補助に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。</p>
16 限	臨床歯科医学・歯科診療補助論	<p>臨床歯科医学「臨床歯科総論、保存修復・歯内療法、歯周病学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学、矯正歯科学、歯科放射線学」 歯科衛生士が業務を行うために必要となる歯科臨床に関する基本的知識について具体的に述べる。 歯科診療補助論「総論、歯科材料、保存・補綴・口腔外科・矯正歯科・小児歯科・高齢者・障害者・X線撮影の診療補助、救命救急処置」 歯科診療補助に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。</p>

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
17 限	臨床歯科医学・歯科診療補助論	臨床歯科医学「臨床歯科総論、保存修復・歯内療法、歯周病学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学、矯正歯科学、歯科放射線学」 歯科衛生士が業務を行うために必要となる歯科臨床に関する基本的知識について具体的に述べる。 歯科診療補助論「総論、歯科材料、保存・補綴・口腔外科・矯正歯科・小児歯科・高齢者・障害者・X線撮影の診療補助、救命救急処置」 歯科診療補助に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。
18 限	歯科予防処置論	歯科予防処置に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。
19 限	歯科予防処置論	歯科予防処置に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。
20 限	歯科予防処置論	歯科予防処置に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。
21 限	歯科保健指導論	歯科保健指導に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。
22 限	歯科保健指導論	歯科保健指導に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。
23 限	歯科保健指導論	歯科保健指導に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。
24 限	歯科保健指導論	歯科保健指導に関する知識、技能および対応について具体的に説明できる。
25 限	模試	演習：前々年度国試問題について、7割5分（165/220点）以上正答できる。
26 限	模試	演習：前々年度国試問題について、7割5分（165/220点）以上正答できる。
27 限	模試	演習：前々年度国試問題について、7割5分（165/220点）以上正答できる。
28 限	模試	演習：前年度国試問題について、7割5分（165/220点）以上正答できる。
29 限	模試	演習：前年度国試問題について、7割5分（165/221点）以上正答できる。
30 限	模試	演習：前年度国試問題について、7割5分（165/222点）以上正答できる。